

- 1. 会社概要**
2. 2021年6月期 第3四半期連結決算概要
3. 2021年6月期 第3四半期セグメント別決算概要
4. 2021年6月期 年度計画及び中期計画

■ 会社名	株式会社ハウストゥ
■ 代表	代表取締役社長 CEO 安藤 正弘
■ 設立	2009年1月 (創業 1991年)
■ 資本金	33億5,983万円
■ 証券コード	3457
■ 上場取引所	東京証券取引所市場第一部
■ 売上	328.7億円 (2020年6月期 グループ連結)
■ 従業員数	783名 (2020年6月現在 グループ合計)
■ 本社	東京都千代田区丸の内1丁目8-1 丸の内トラストタワーN館17F
■ 本店	京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町670番地
■ 事業内容	フランチャイズ事業、ハウス・リースバック事業、金融事業、不動産売買事業、不動産流通事業、リフォーム事業

【企業理念】

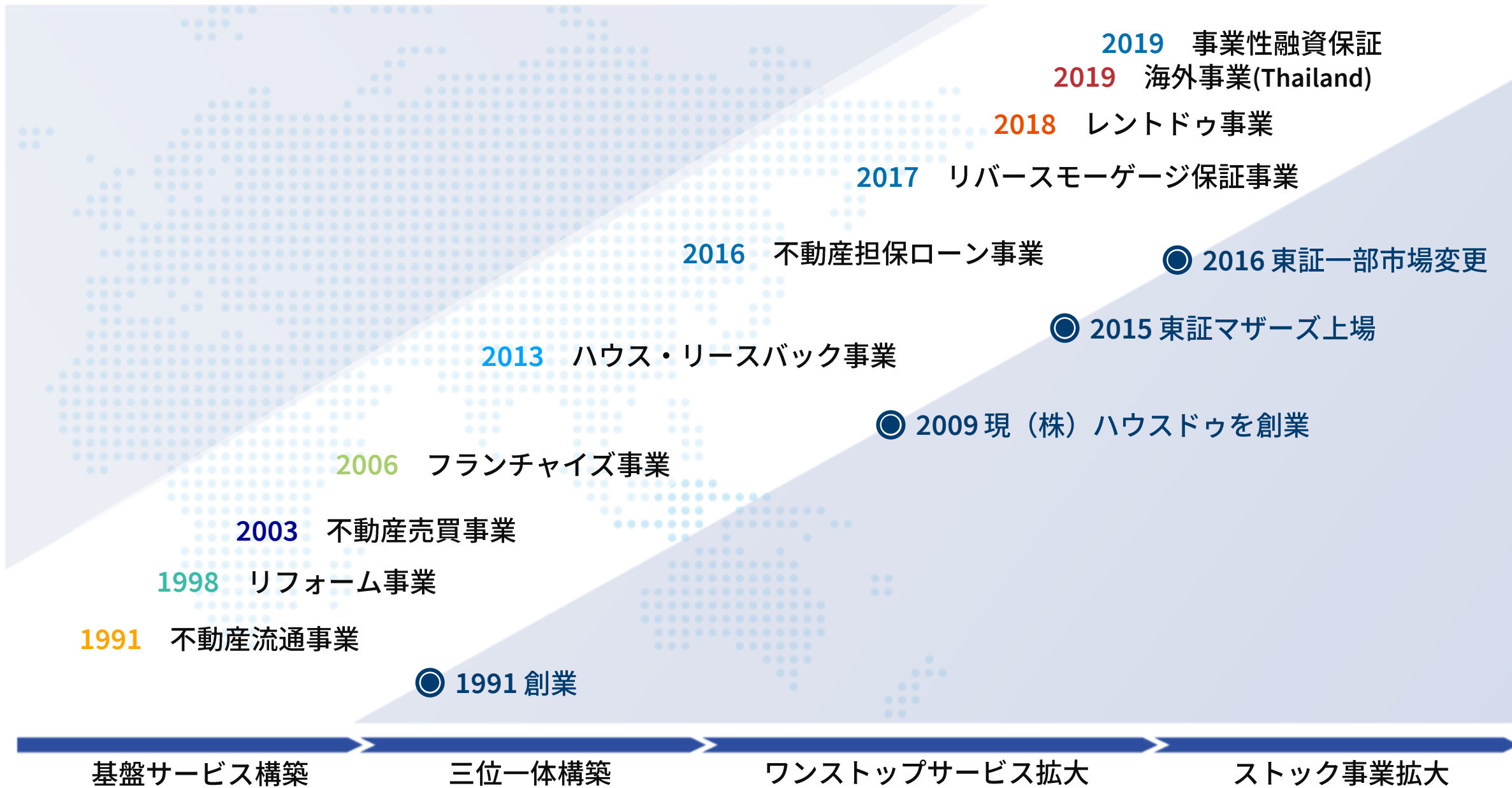
お客様の豊かさ、社員の豊かさ、社会の豊かさを常に創造し、
末永い繁栄と更なる幸福を追求します。

【経営理念】

お客様から必要とされ、お客様へ尽くします。

【ブランド理念】

私たちは日本の住宅市場をオープンにし、
お客様のライフステージに即した理想の住宅を積極的に
住み替えたりできる「住まいの新しい流通システム」を築きます。



基盤サービス構築

三位一体構築

ワンストップサービス拡大

ストック事業拡大

地域密着の



販売力



査定力



信用力



全国対応



『顧客接点』 ・ 『地域密着』 のネットワークを構築

全てのエリアにハウズドゥ
お客様のより近くに、安心・便利な窓口を創り出す。



不動産情報公開

国内1,000店舗の
FCチェーンネットワーク
(2025年)



不動産ソリューション

(高齢化社会に対応)

ハウス・リースバック
不動産担保ローン
リバースモーゲージ
リフォーム



売買仲介を起点に
住まいの関連サービスへつなげる

不動産流通事業

住まいのワンストップサービス

事業シナジーを強化



リフォーム事業

フランチャイズ事業
(アジアのFCチェーンネットワーク)



不動産売買事業



ハウス・リースバック



賃貸管理・仲介
(レントドゥ)



金融事業
・不動産担保ローン
・リバースモーゲージ保証
・事業性融資保証



海外事業

1. 会社概要
- 2. 2021年6月期 第3四半期連結決算概要**
3. 2021年6月期 第3四半期セグメント別決算概要
4. 2021年6月期 年度計画及び中期計画

2021年6月期 第3四半期事業進捗

下期HLBファンド譲渡が未実施等の要因により、利益は2Qから横ばいで推移。前年同期比では、売上高、利益とも2ケタ増。

- フランチャイズ事業：累計加盟契約 688店舗 / 開店 607店舗
- ハウス・リースバック事業：保有件数 486件 / 保有総額 67.0億円
仕入契約件数 651件 (前期比+27.9%)
- 金融事業：不動産担保ローン残高 99.0億円
リバースモーゲージ保証残高 45.0億円

売上	営業利益	経常利益
253.5億円	12.6億円	11.7億円
(前年同期比+10.4%)	(前年同期比+ 10.9%)	(前年同期比+ 11.4%)

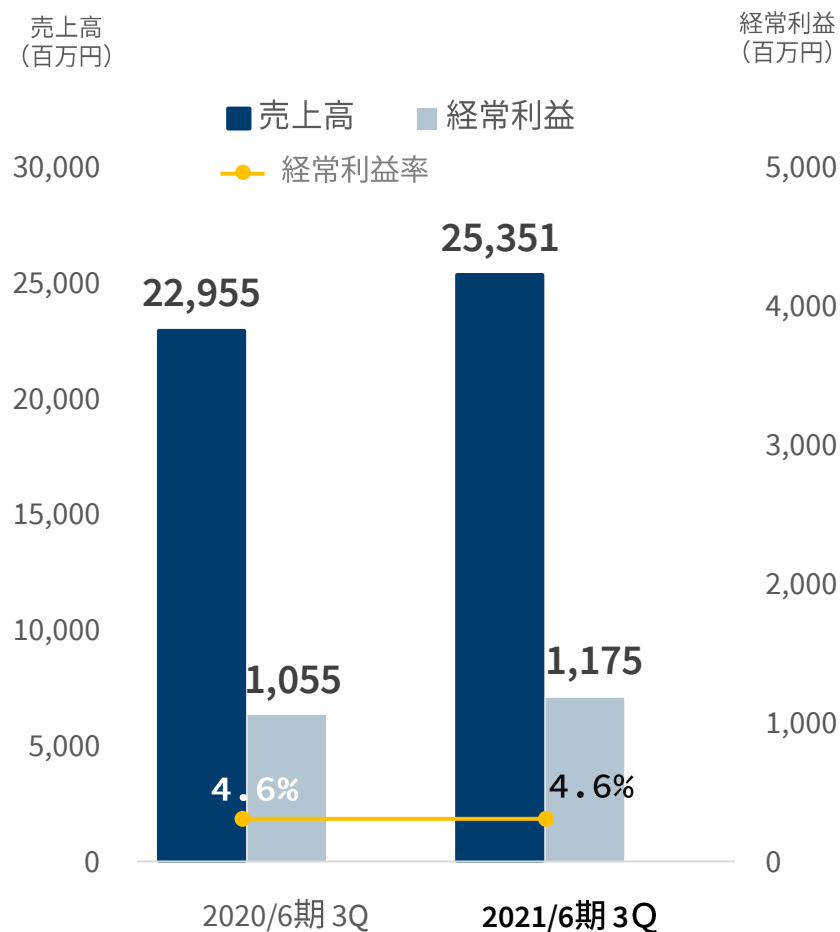
トピックス

- リバースモーゲージ保証 **累計契約件数が500件突破**
(2021年4月30日現在)
- スマート家電・機器を標準装備したIoT住宅
「スマートDOホーム」販売開始

配当

- 持続的な業容拡大と収益性向上による企業価値の向上
- **配当性向30%以上**を基本水準

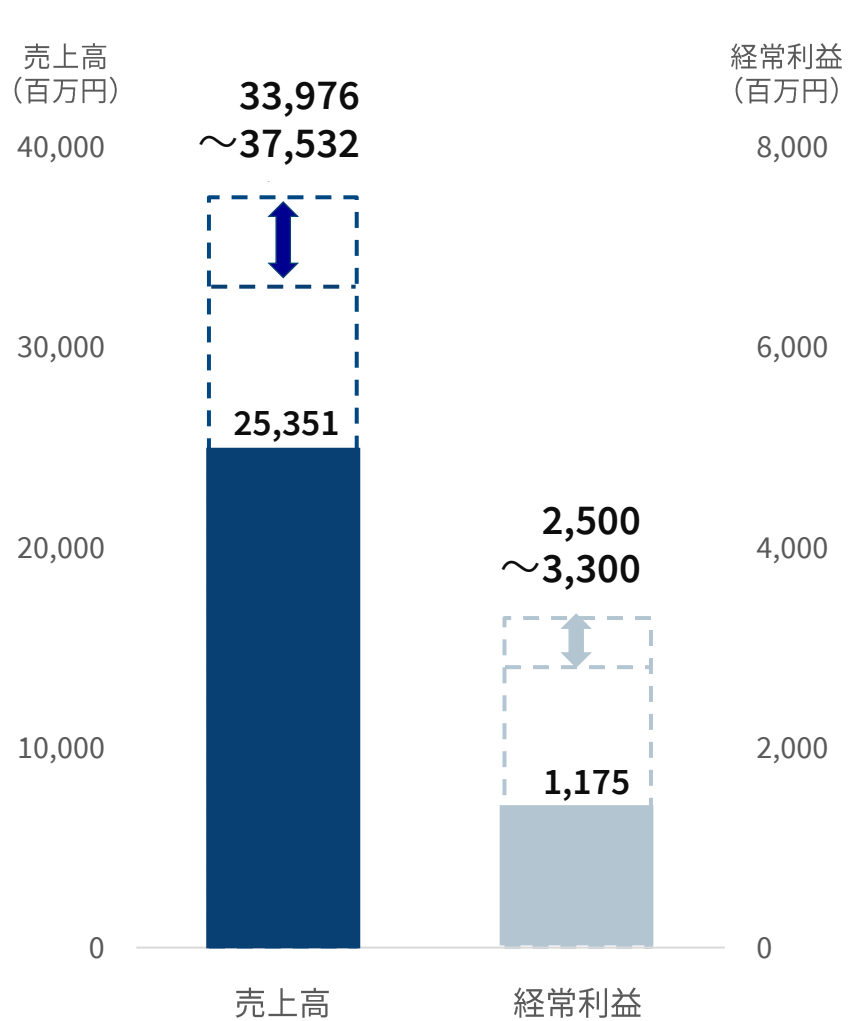
単位 (百万円)



(前年同期比較)	2020/6期 3Q		2021/6期 3Q		前年同期 増減率
	売上 対比	売上 対比	売上 対比	売上 対比	
売上高	22,955	100.0%	25,351	100.0%	+ 10.4%
売上総利益	8,377	36.5%	8,855	34.9%	+ 5.7%
販売費及び 一般管理費	7,235	31.5%	7,589	29.9%	+ 4.9%
営業利益	1,142	5.0%	1,266	5.0%	+ 10.9%
営業外収益	163	0.7%	192	0.8%	+ 17.6%
営業外費用	249	1.1%	282	1.1%	+ 13.0%
経常利益	1,055	4.6%	1,175	4.6%	+ 11.4%
純利益	643	2.8%	771	3.0%	+ 19.9%

■売上総利益：前年同期比 +5.7% 販管費：前年同期比 +4.9%

■今期第3四半期はHLBファンドへの譲渡未実施であるものの、売上高、利益とも前年同期を上回る推移

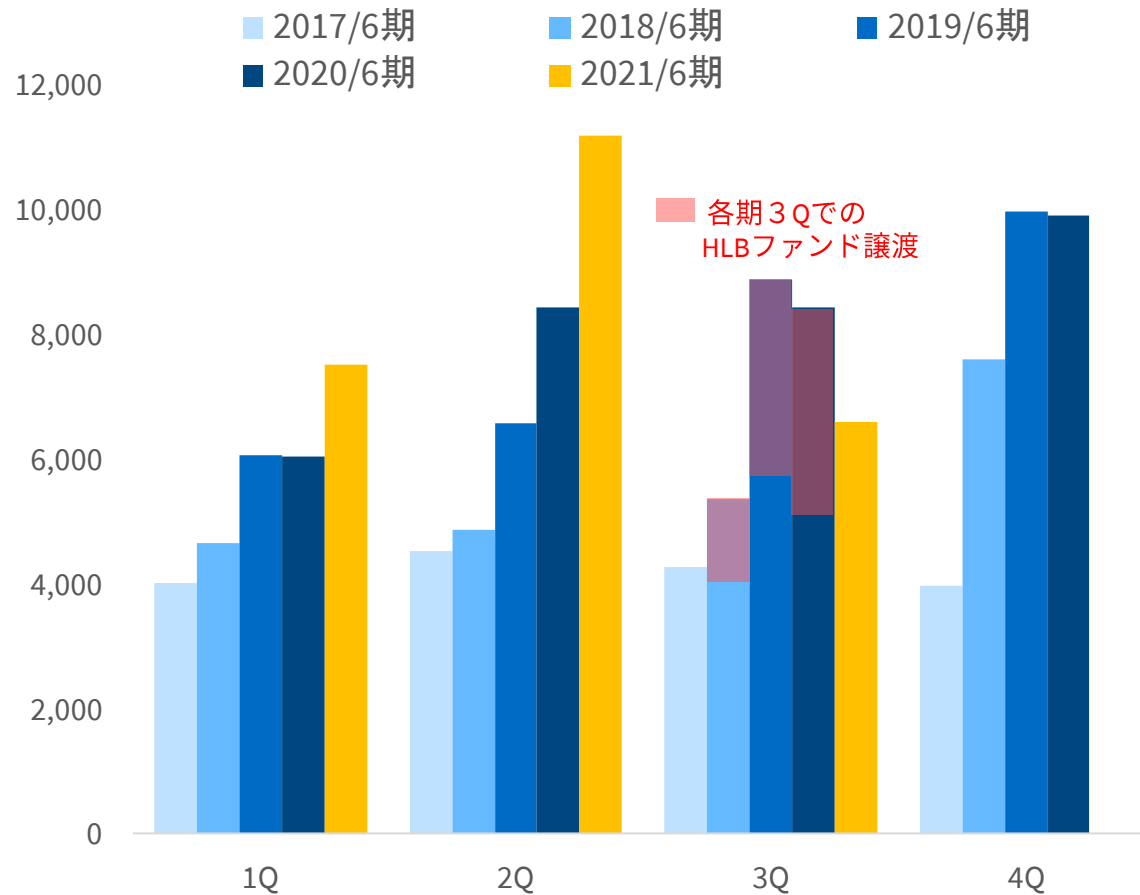


	2021/6期 3Q 実績	2021/6期 (予)	通期進捗率	
			(下限)	(上限)
売上高	25,351	33,976 ~37,532	74.6%	67.5%
営業利益	1,266	2,713 ~3,512	46.7%	36.0%
経常利益	1,175	2,500 ~3,300	47.0%	35.6%
純利益	771	1,650 ~2,178	46.7%	35.4%
1株当たり純利益 (円)	39.56	84.68 ~111.75	—	—

■ 売上高 253.5億円 → 進捗率67.5% ~ 74.6% 経常利益 11.7億円 → 同35.6% ~ 47.0%
 ■ HLBファンドへの譲渡を含め、第4四半期に大きく偏重見込み

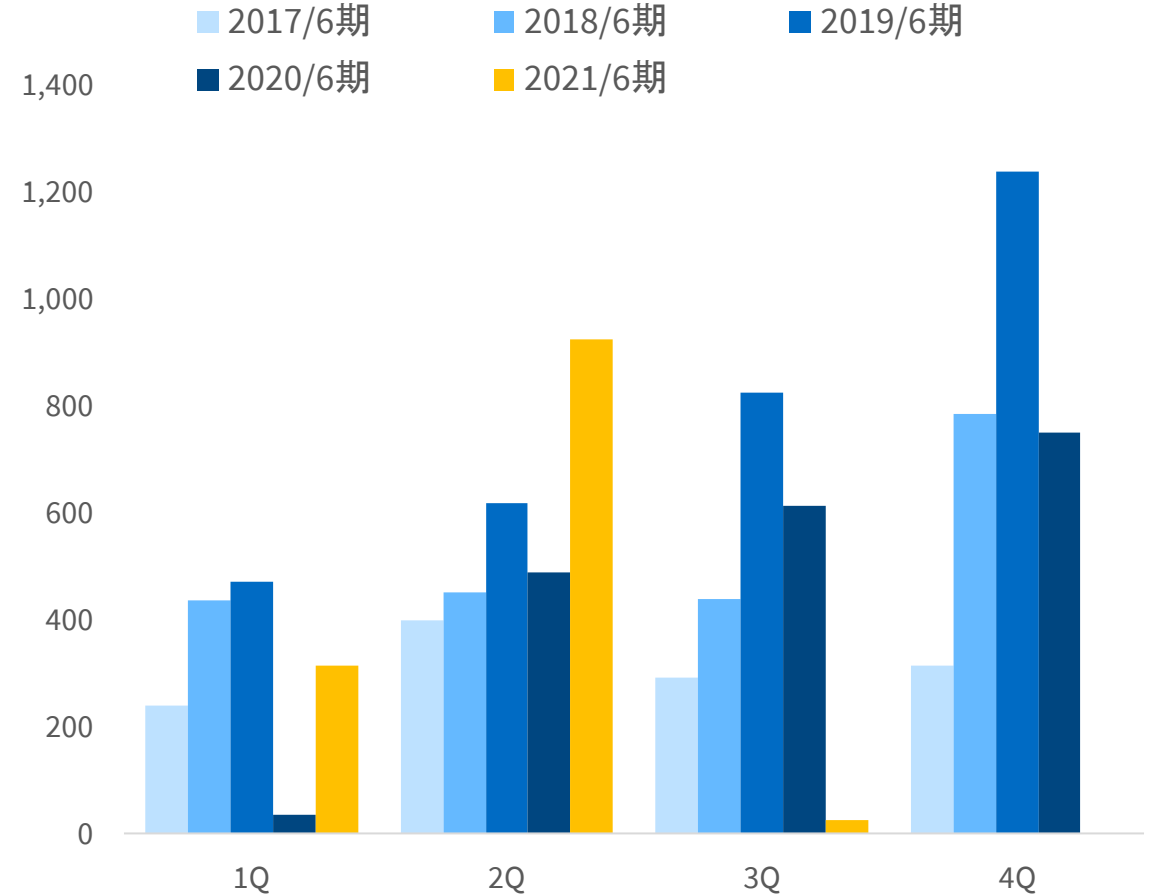
四半期売上高推移

(百万円)



四半期営業利益推移

(百万円)



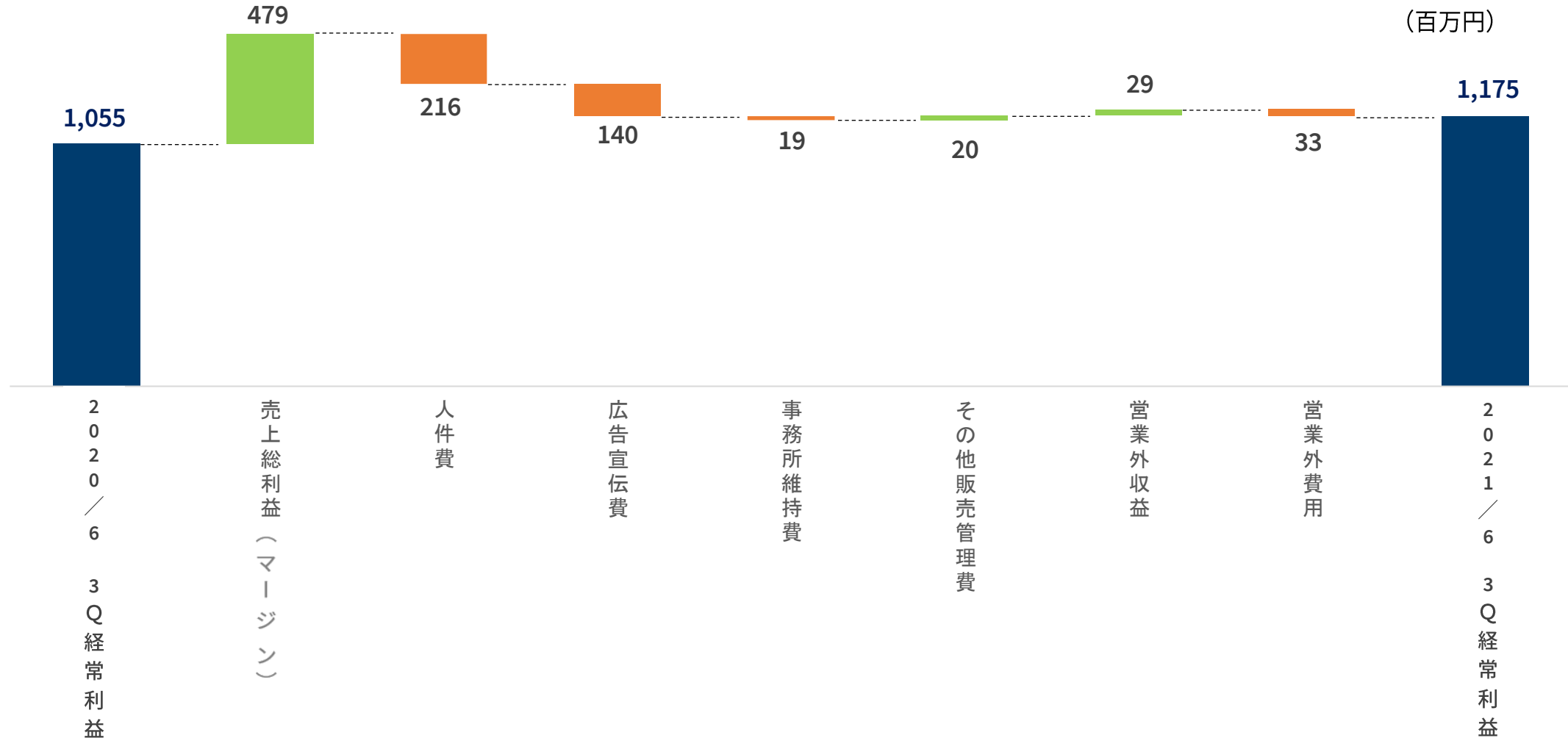
■今期第3四半期はHLBファンドへの譲渡未実施→譲渡の影響を除く売上高は、過去実績を上回る
営業利益ベースの大幅減の主要因も同上

経常利益増減要因内訳

■売上総利益（マージン）は前年同期比+ 5.7 %

■積極投資により、成長強化学業（フランチャイズ、ハウス・リースバック、金融）を中心に人件費、広告宣伝費は増加

■オンライン、デジタル活用によりその他販管費は、効率的にコントロール



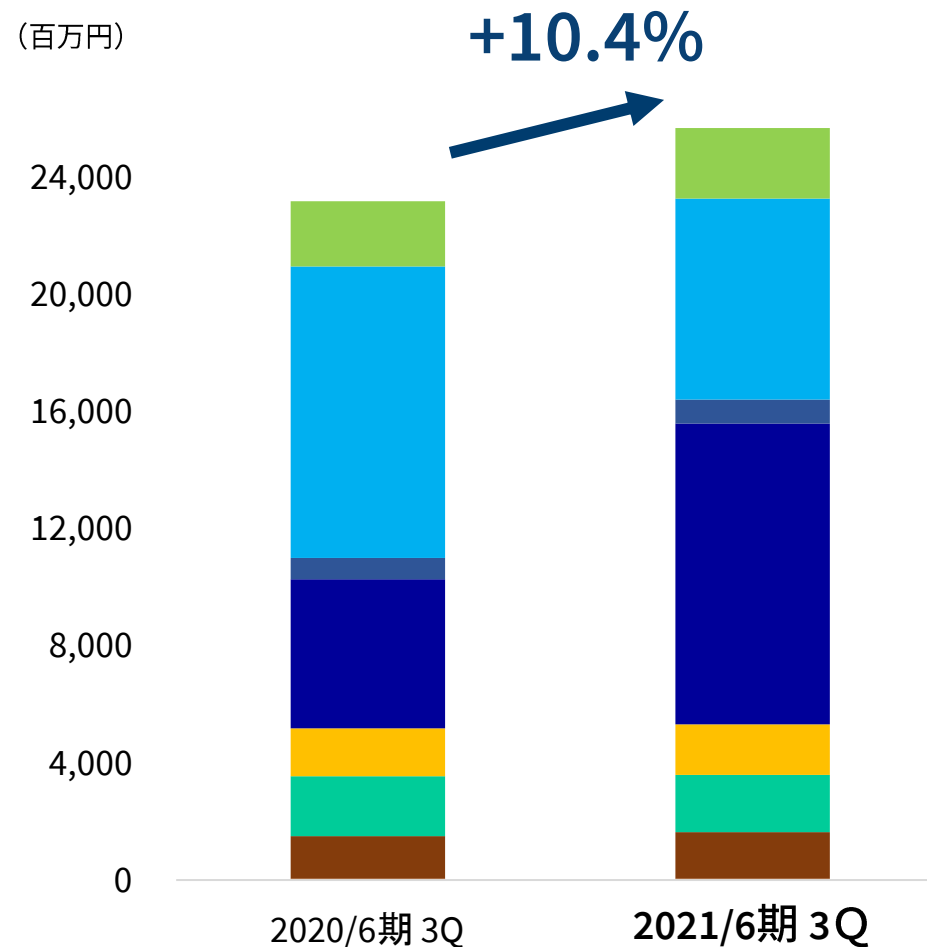
セグメント別売上高

単位（百万円）

(前年同期比較)	2020/6期 3Q	2021/6期 3Q	前年同期 増減率
フランチャイズ事業	2,205	2,445	+ 10.9%
ハウス・リースバック事業	9,996	6,857	▲ 31.4%
金融事業	736	841	+ 14.2%
不動産売買事業	5,103	10,295	+ 101.7%
不動産流通事業	1,649	1,704	+ 3.4%
リフォーム事業	2,037	1,979	▲ 2.9%
小山建設グループ	1,467	1,609	+ 9.7%
その他	10	5	▲ 51.3%
調整額	▲ 252	▲ 387	-
合計	22,955	25,351	+ 10.4%

セグメント別売上高推移グラフ

(百万円)



■フランチャイズ事業、金融事業は安定して推移 不動産売買事業も引続き前年同期比+100%を超える水準
 ■ハウス・リースバック事業の前期比減は、HLBファンド等への譲渡タイミングによるもの

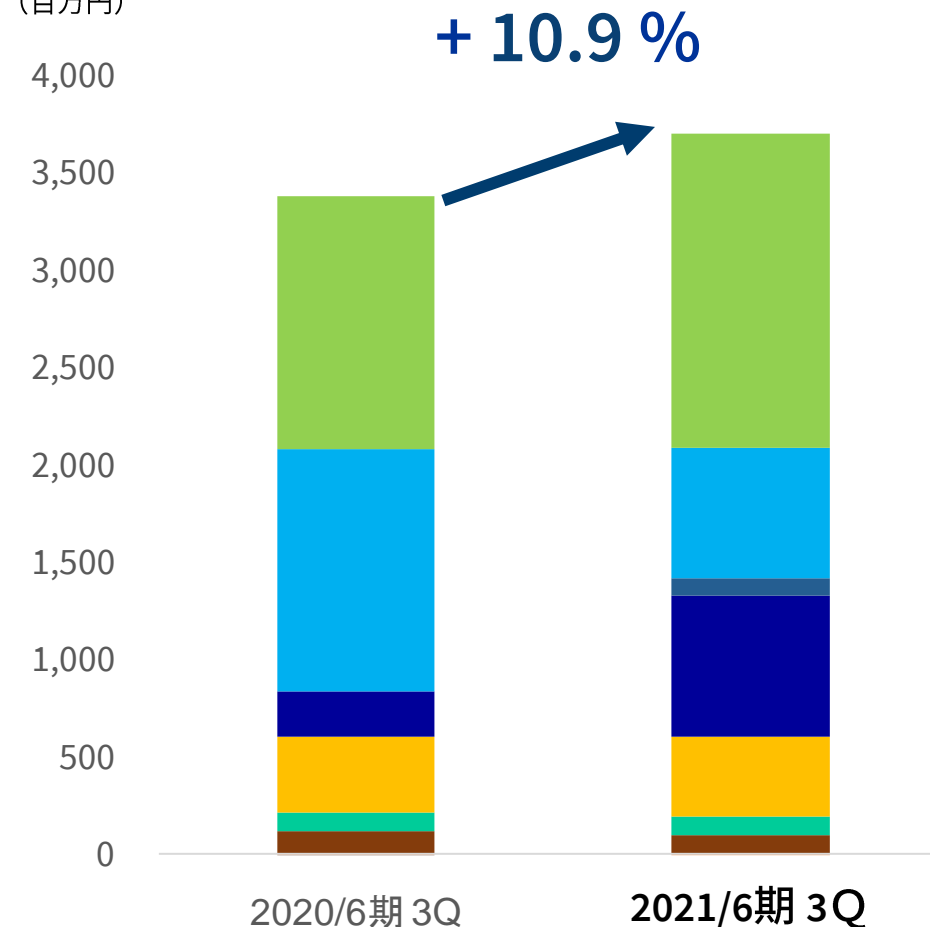
セグメント別利益

単位（百万円）

(前年同期比較)	2020/6期 3Q	2021/6期 3Q	前年同期 増減率
フランチャイズ事業	1,302	1,617	+ 24.2%
ハウス・リースバック事業	1,244	667	▲ 46.4%
金融事業	▲ 13	94	-
不動産売買事業	231	723	+ 212.0%
不動産流通事業	389	411	+ 5.7%
リフォーム事業	102	98	▲ 3.5%
小山建設グループ	114	95	▲ 16.8%
その他	▲ 7	▲ 6	-
調整額	▲ 2,221	▲ 2,435	-
合計	1,142	1,266	+ 10.9%

セグメント別利益推移グラフ

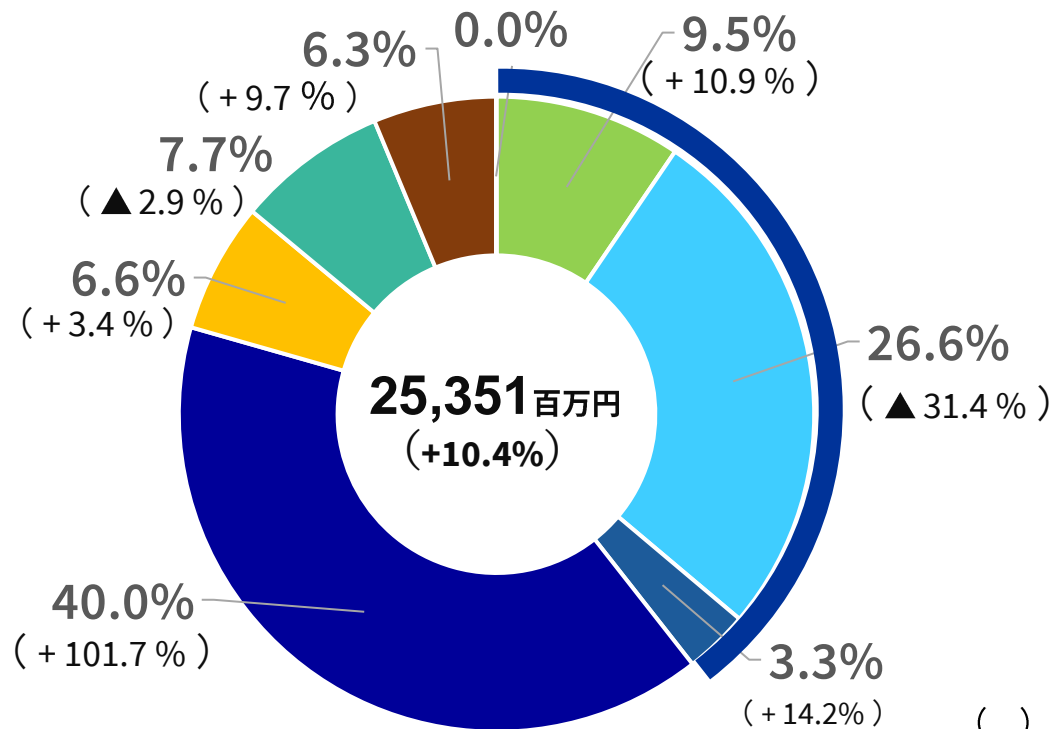
(百万円)



■上期に続きフランチャイズ事業、金融事業の伸長と好調な不動産売買事業が牽引

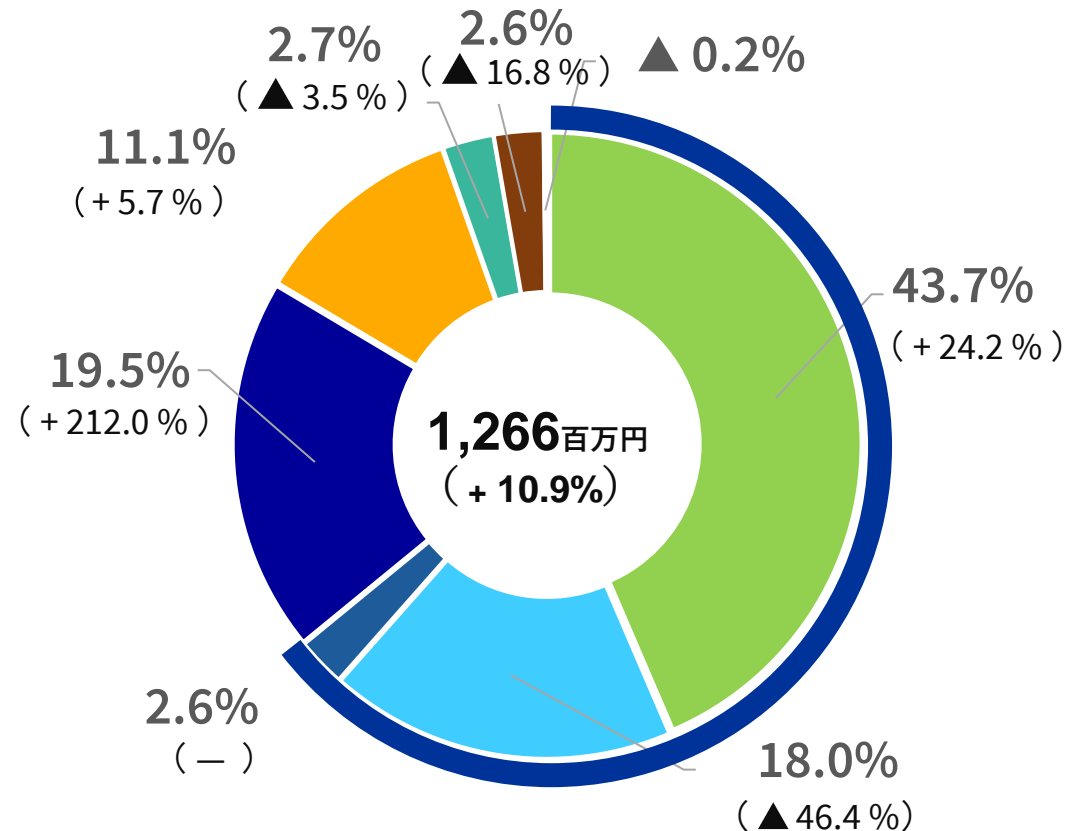
■リフォーム事業は、例年の季節性に加え、感染症再拡大の影響により若干の工事遅延が発生

2021年6月期 第3四半期 売上高



成長強化事業 **39.4%**
 (ストックをベース) (前年同期 55.8%)

2021年6月期 第3四半期 営業利益



成長強化事業 **64.3%**
 (ストックをベース) (前年同期 75.3%)

- フランチャイズ事業
- ハウズ・リースバック事業
- 不動産流通事業
- リフォーム事業

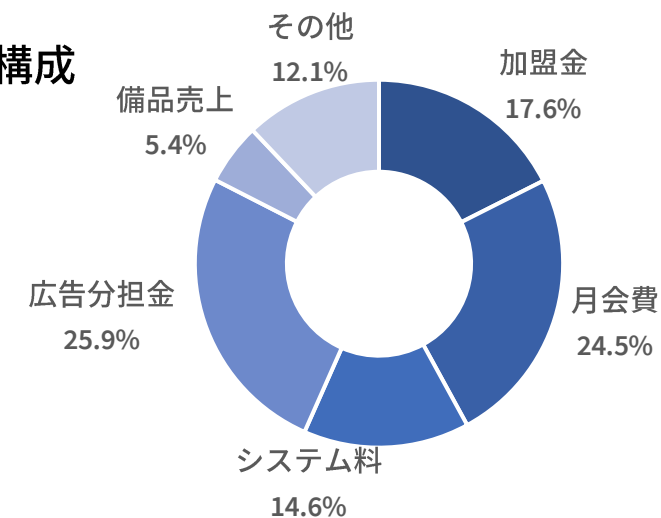
- 金融事業
- 不動産売買事業
- 小山建設グループ
- その他

1. 会社概要
2. 2021年6月期 第3四半期連結決算概要
- 3. 2021年6月期 第3四半期セグメント別決算概要**
4. 2021年6月期 年度計画及び中期計画

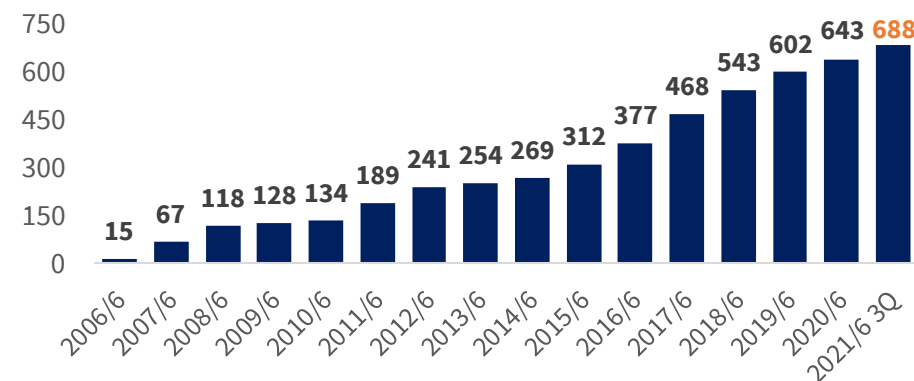
売上高・営業利益推移

	2020/6期 3Q	2021/6期 3Q	2021/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	2,205	2,445	3,368	72.6%
営業利益 (百万円)	1,302	1,617	2,042	79.2%
営業利益率 (%)	59.1%	66.1%	60.6%	—
累計加盟店舗数	642	688	756	—
累計開店店舗数	543	607	667	—

売上構成



加盟店舗数の推移

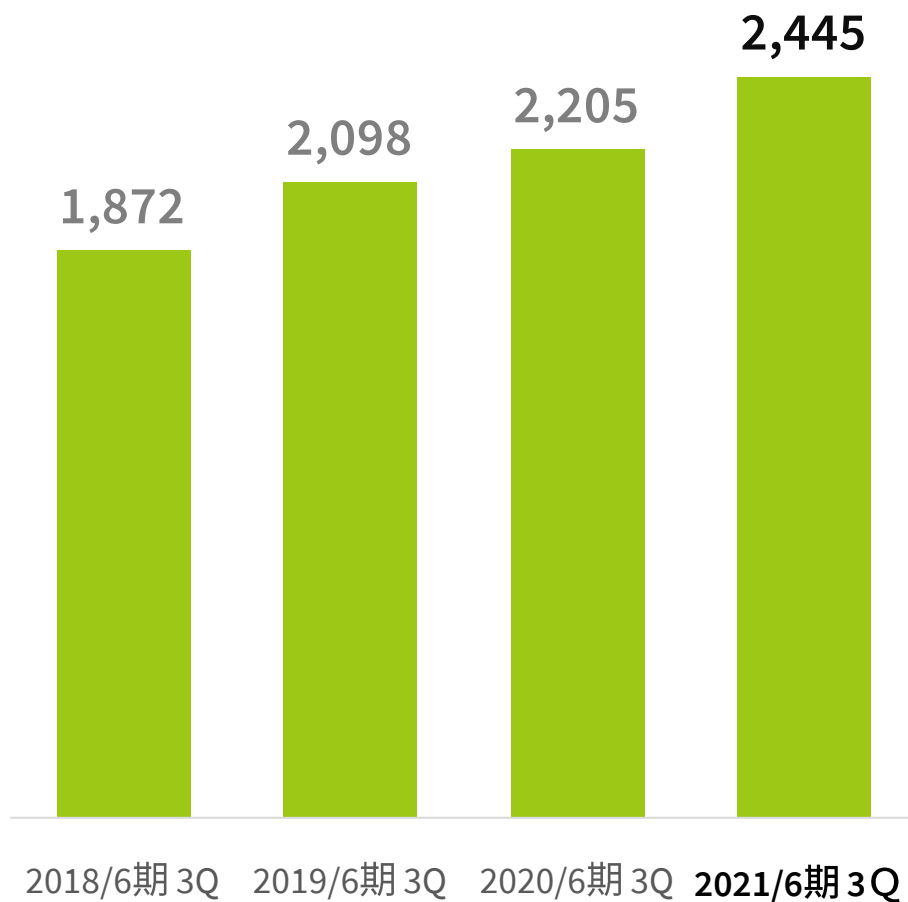


- 新規加盟店舗数 103件 新規開店店舗数 107店舗 累計加盟店舗数 688店舗
- 従来からニーズが多かった異業種参入に加え、不動産業種からの加盟割合が増加
- 出店余地の大きい首都圏をはじめ、さらなる加盟開発に注力

売上高推移

百万円

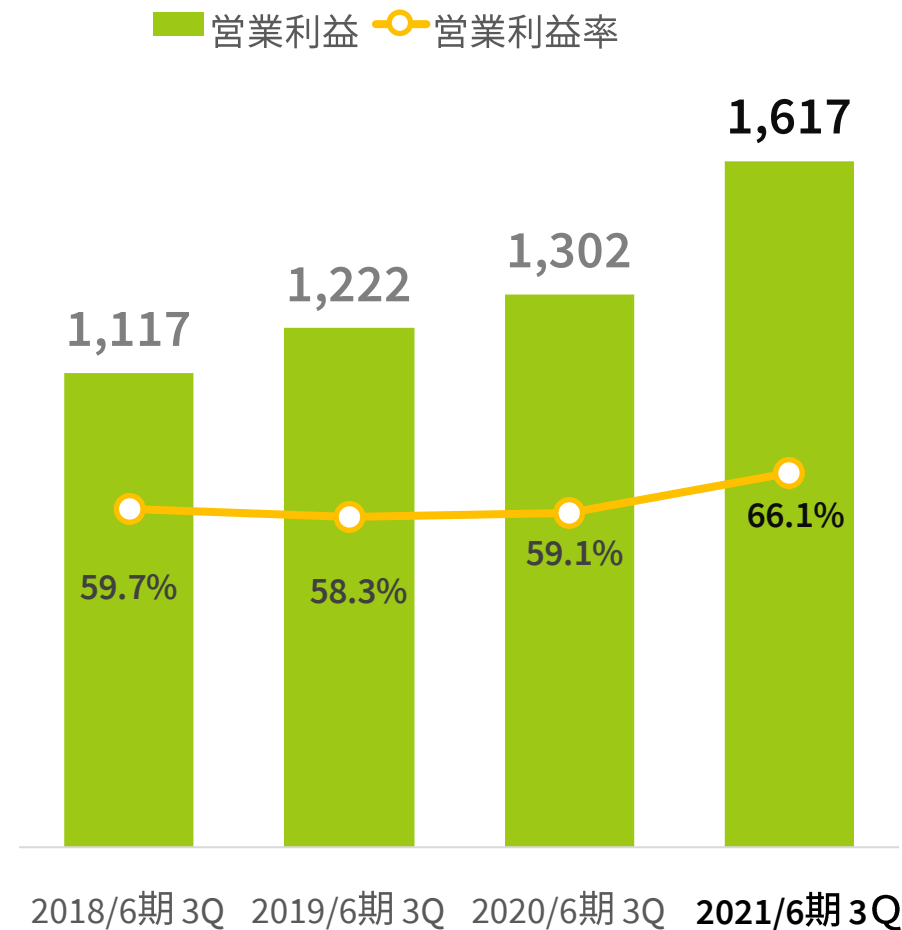
前期比 **+10.9%**



営業利益推移

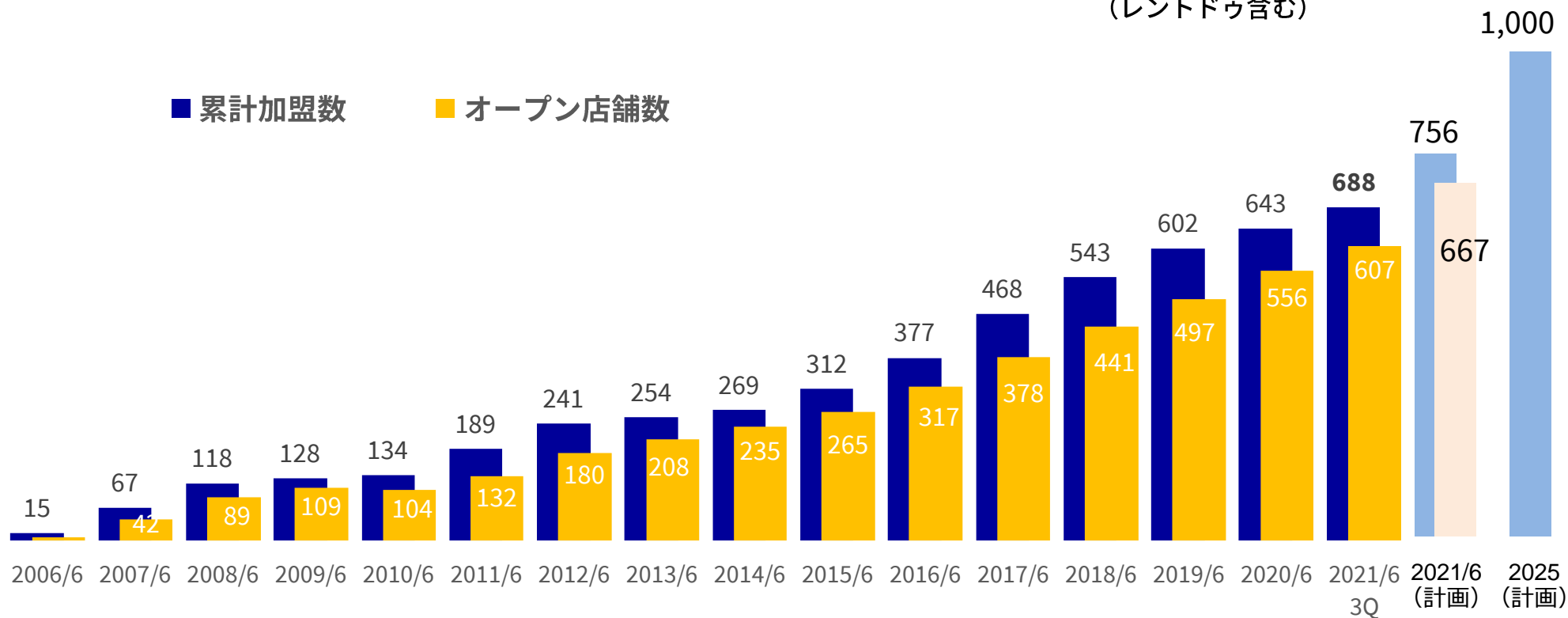
百万円

前期比 **+24.2%**

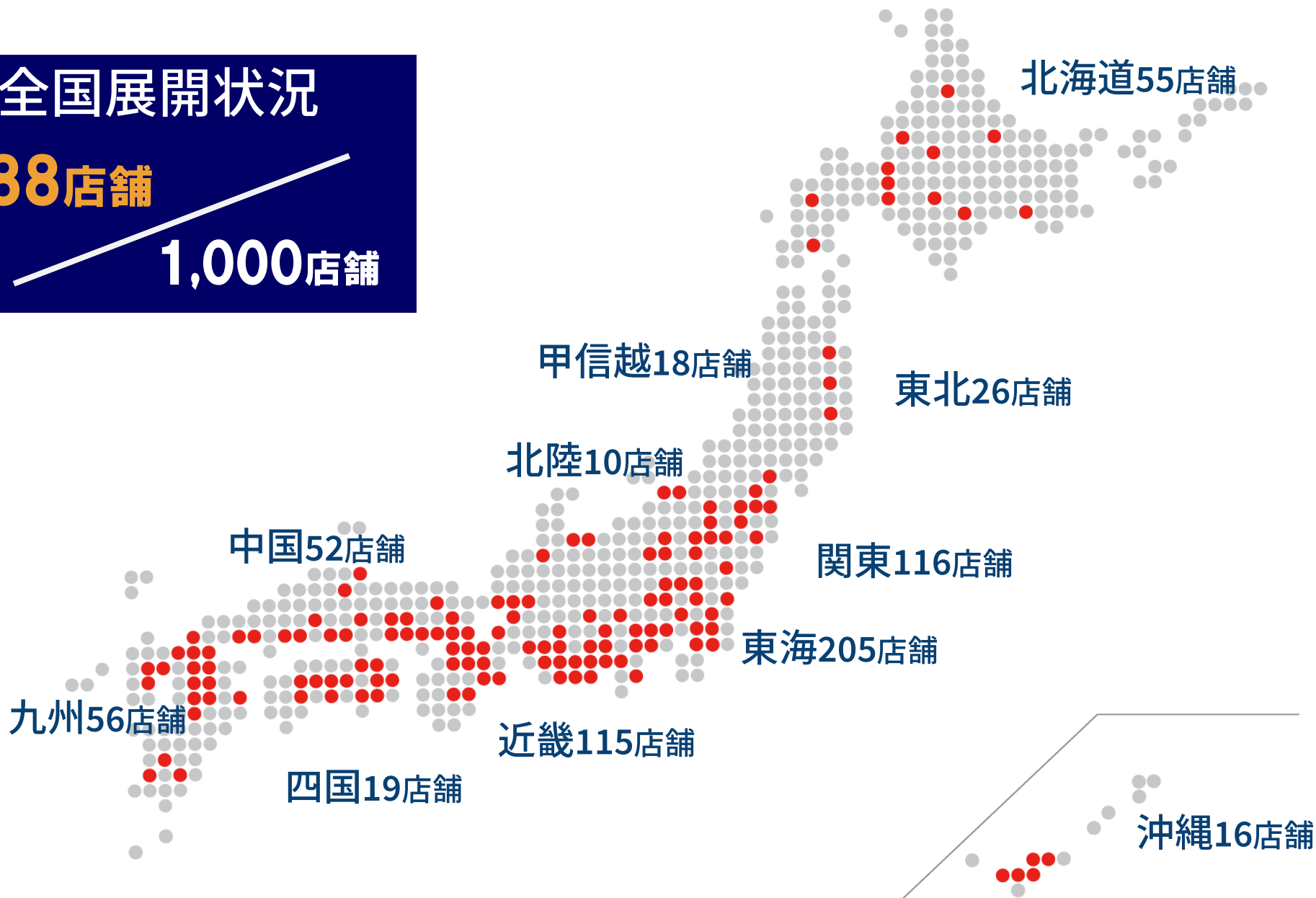


2021年3月末日現在 **688店舗** ※内準備中 81店舗

(レントドゥ含む)



	サテライト店	買取専門店	住宅情報モール	レントドゥ	合計
FC加盟店	506	108	2	41	657
直営店	12	13	4	2	31
合計	518	121	6	43	688



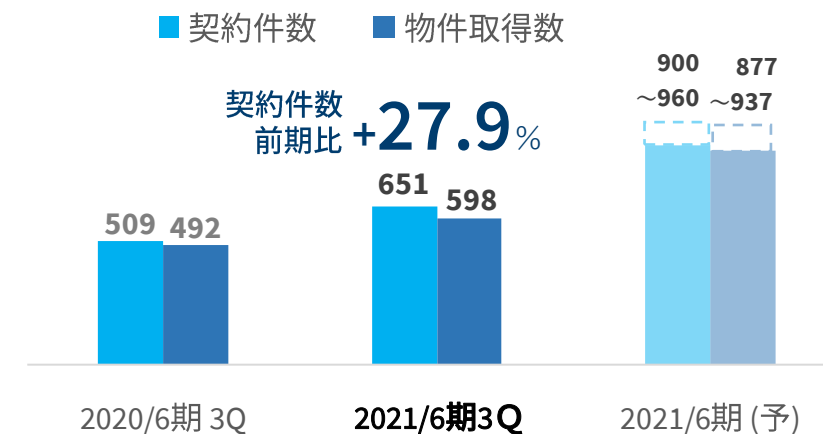
売上高・営業利益推移

	2020/6期 3Q	2021/6期 3Q	2021/6期 (予)	通期進捗率	
				(下限)	(上限)
売上高 (百万円)	9,996	6,857	14,325 ~15,297	47.9%	44.8%
営業利益 (百万円)	1,244	667	2,143 ~2,394	31.1%	27.9%
営業利益率 (%)	12.5%	9.7%	15.0% ~15.7%	—	—
契約件数	509	651	900 ~960	72.3%	67.8%
物件取得数	492	598	877 ~937	68.2%	63.8%
累計保有件数	330	486	369 ~379	—	—
保有物件総額 (百万円)	5,167	6,702	5,492 ~5,672	—	—

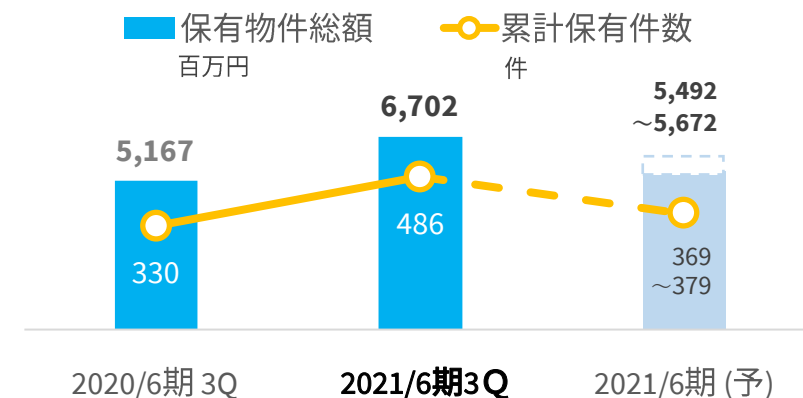
※報告セグメントの変更等に関する事項の影響を考慮して期初数値から修正。詳細は短信p12をご参照ください。

- 仕入契約件数 651件（月平均 72.3件） 積極的な人財・広告宣伝費投資により順調にベースアップ
- 売上高・利益の前期比減はHLBファンド譲渡未実施が要因 第4四半期の流動化に向け残高積上げ

契約件数・物件取得数の推移



保有物件数・総額の推移

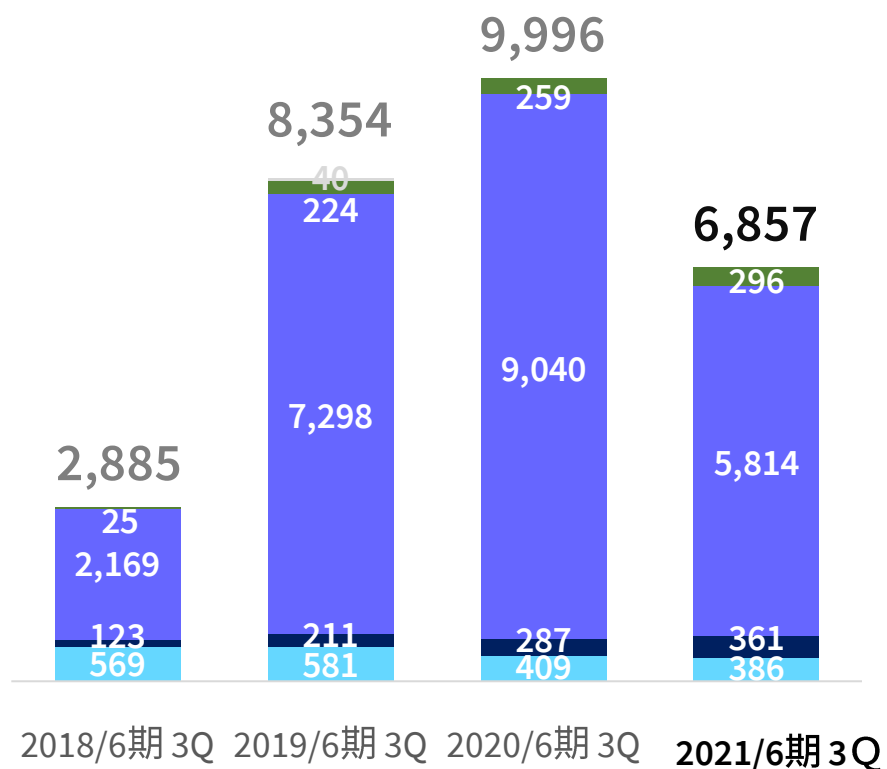


売上高推移

百万円

前期比 ▲ **31.4%**

- 賃料収入等
- 手数料等
- 売却売上高
- 収益賃料等
- 収益売却

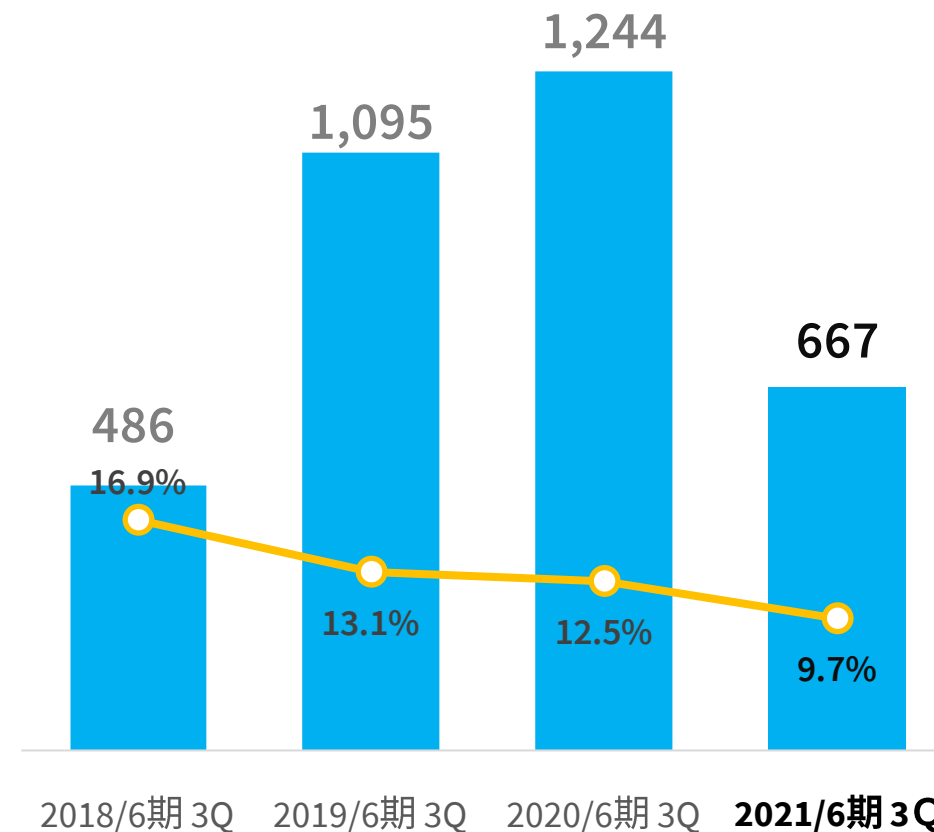


営業利益推移

百万円

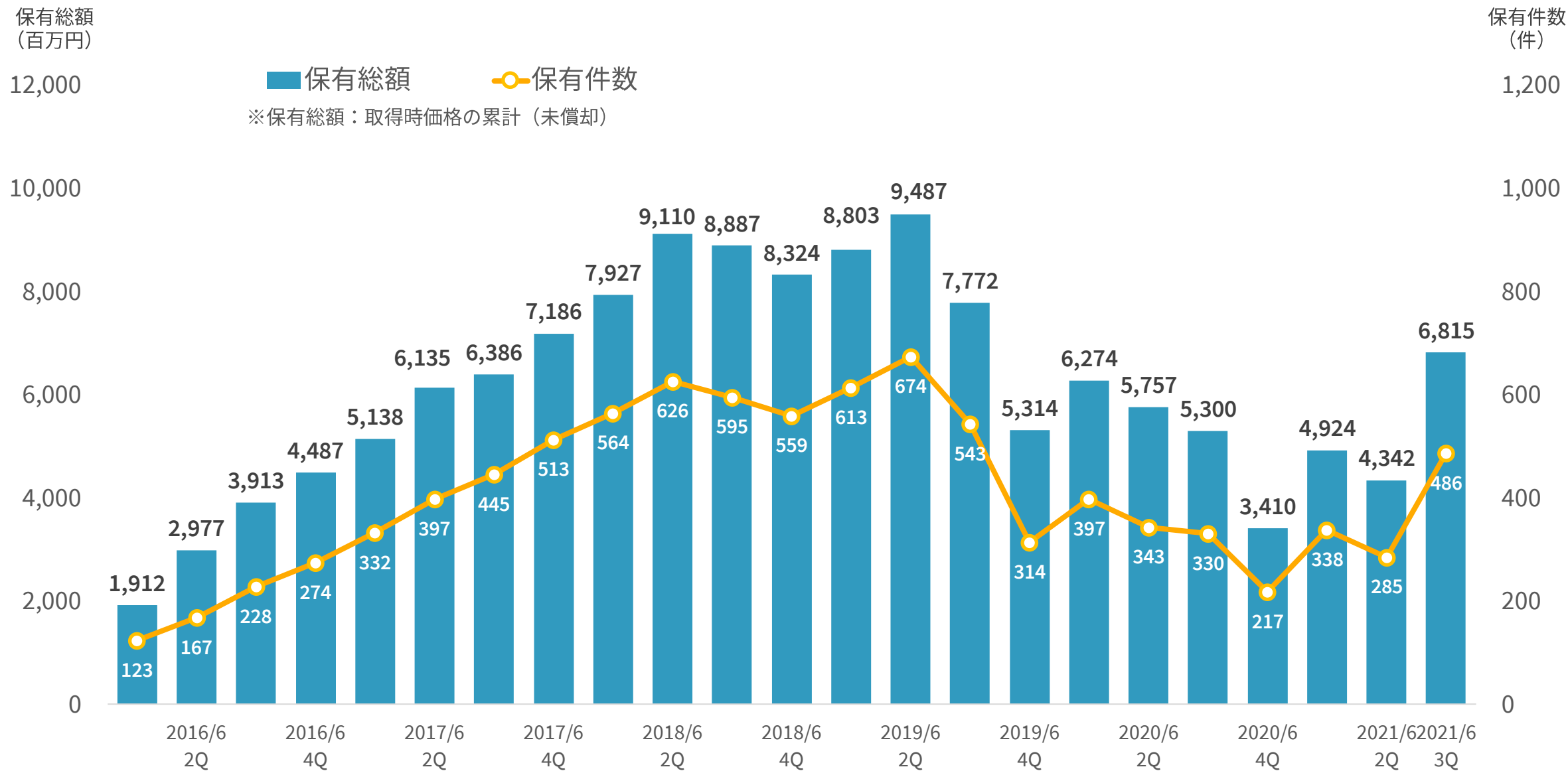
前期比 ▲ **46.4%**

- 営業利益
- 営業利益率



※報告セグメントの変更等に関する事項の影響を考慮し、2019/6期以前も遡及して修正しております。

ハウス・リースバック事業 保有総額・保有件数



売上高・営業利益推移

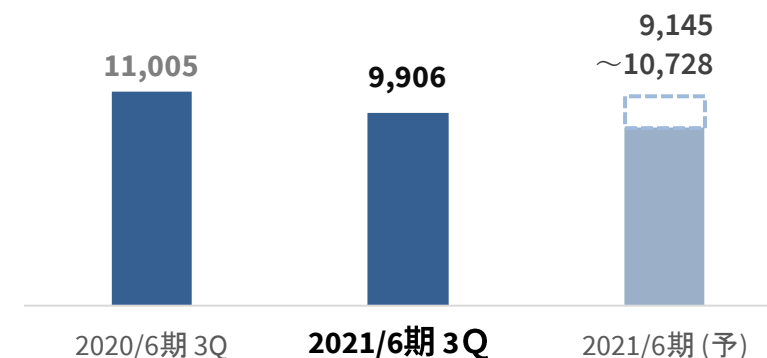
通期進捗率

	2020/6期 3Q	2021/6期 3Q	2021/6期 (予)	(下限)	(上限)
売上高 (百万円)	736	841	1,256 ~1,357	67.0%	62.0%
営業利益 (百万円)	▲ 13	94	200 ~301	47.2%	31.4%
営業利益率 (%)	—	11.2%	15.9% ~22.2%	—	—
不動産担保融資 実行件数	151	129	170	75.9%	—
不動産担保融資 残高 (百万円)	11,005	9,906	9,145 ~10,728	—	—
リバースモーゲージ 保証件数	108	128	375	34.1%	—
リバースモーゲージ 保証残高 (百万円)	3,347	4,501	4,730 ~6,433	—	—

※報告セグメントの変更等に関する事項の影響を考慮して期初数値から修正。詳細は短信p12をご参照ください。

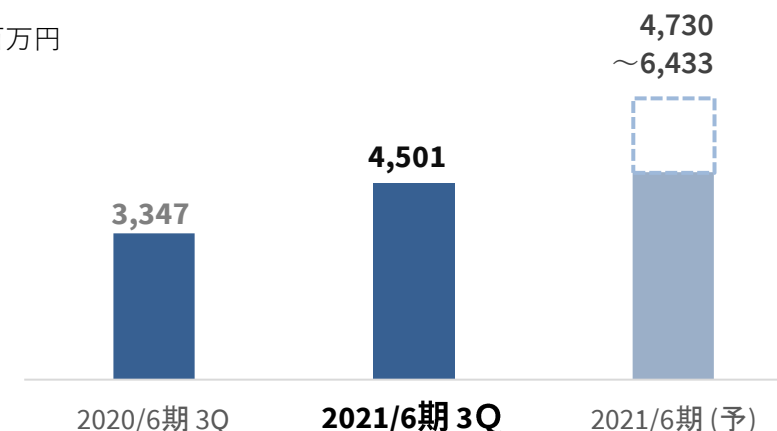
不動産担保融資残高の推移

百万円



リバースモーゲージ保証残高の推移

百万円



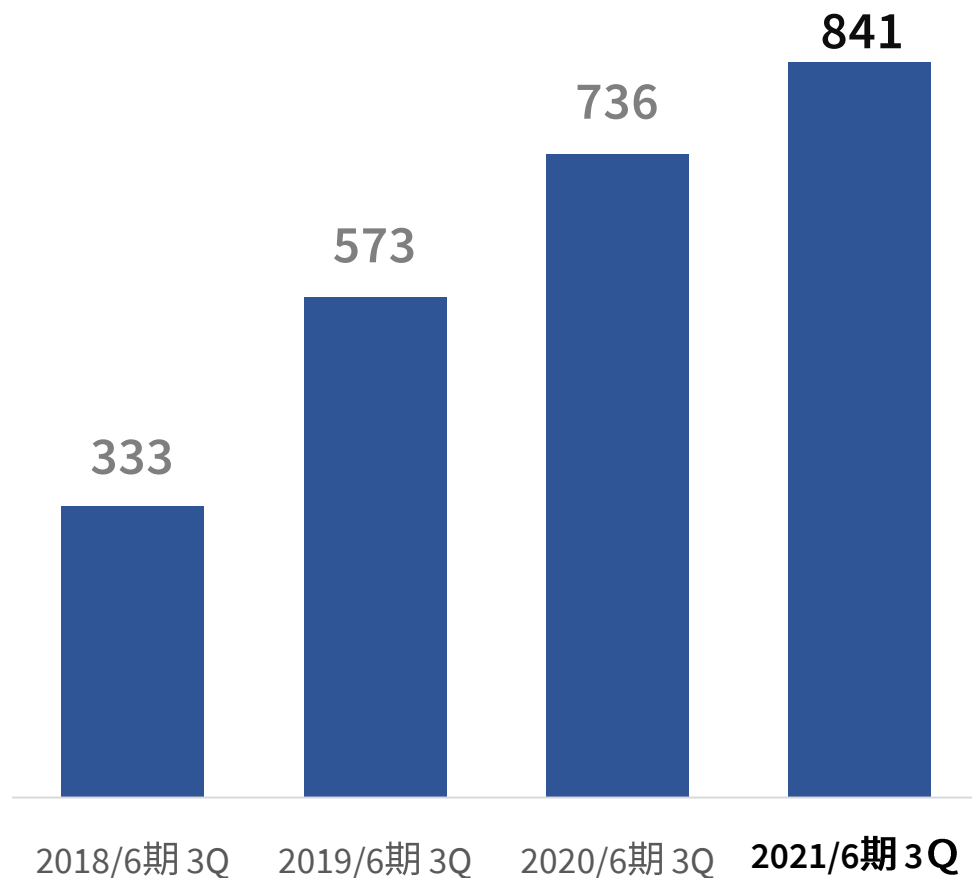
■売上高・利益ともに安定して推移 不動産活用提案によりさらなる収益獲得を図る

■提携数増加によりリバースモーゲージの引き合いも上昇基調 金融機関・顧客向け双方への啓蒙に尽力

売上高推移

百万円

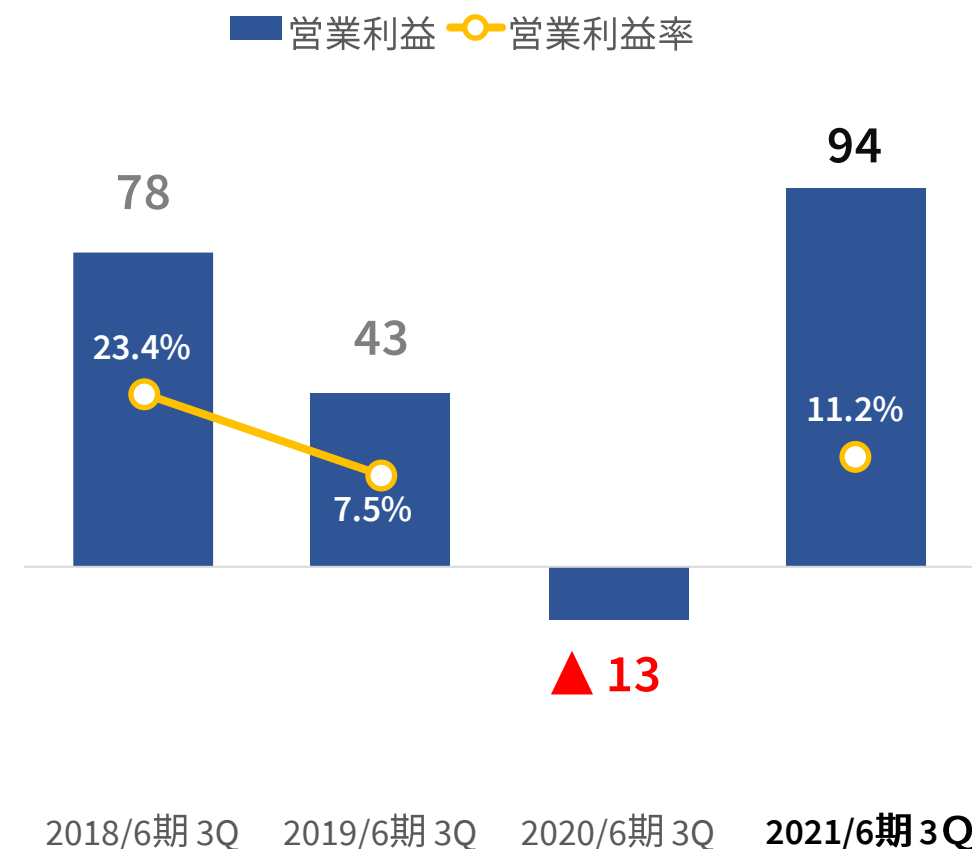
前期比 **+14.2%**



営業利益推移

百万円

前期比 **+108**百万円



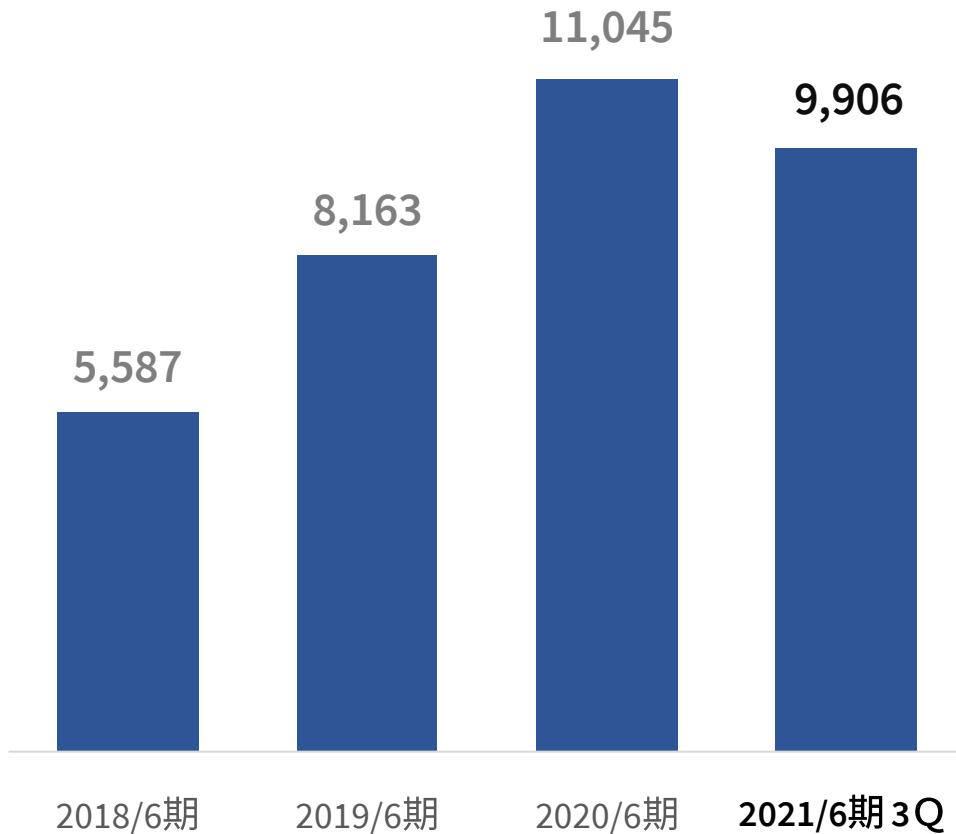
※報告セグメントの変更等に関する事項の影響を考慮し、2019/6期以前も遡及して修正しております。

不動産担保融資残高推移

百万円

不動産担保融資
残高

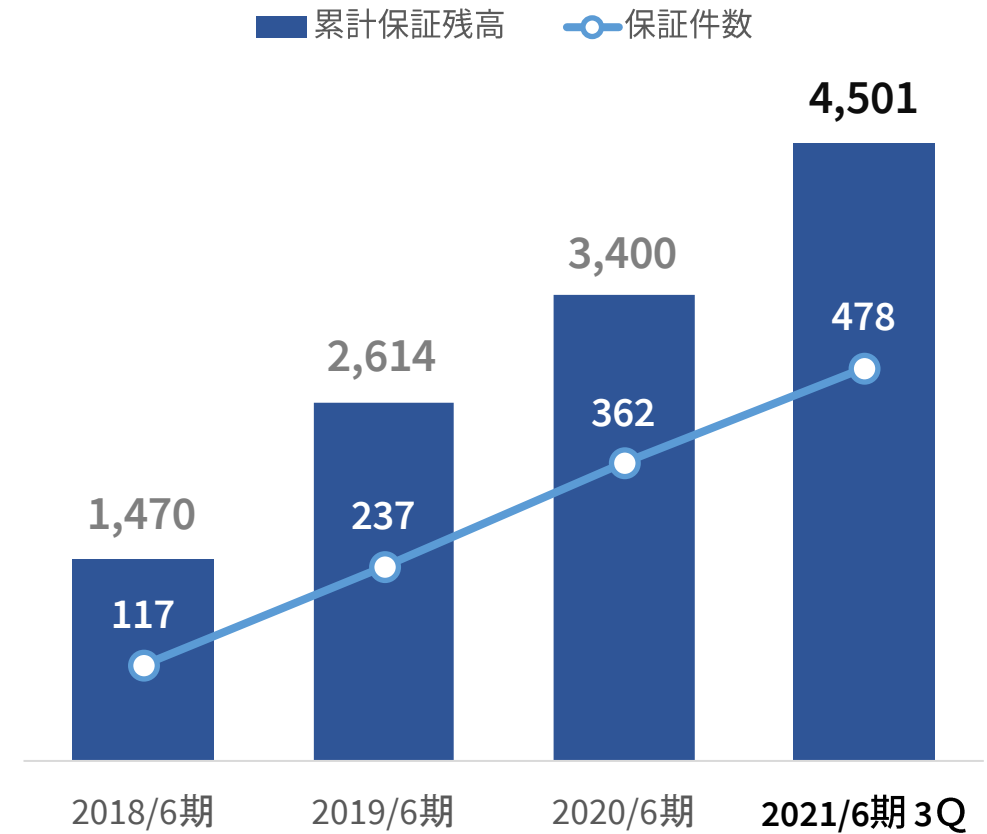
99.0億円



リバースモーゲージ保証残高・件数推移

百万円

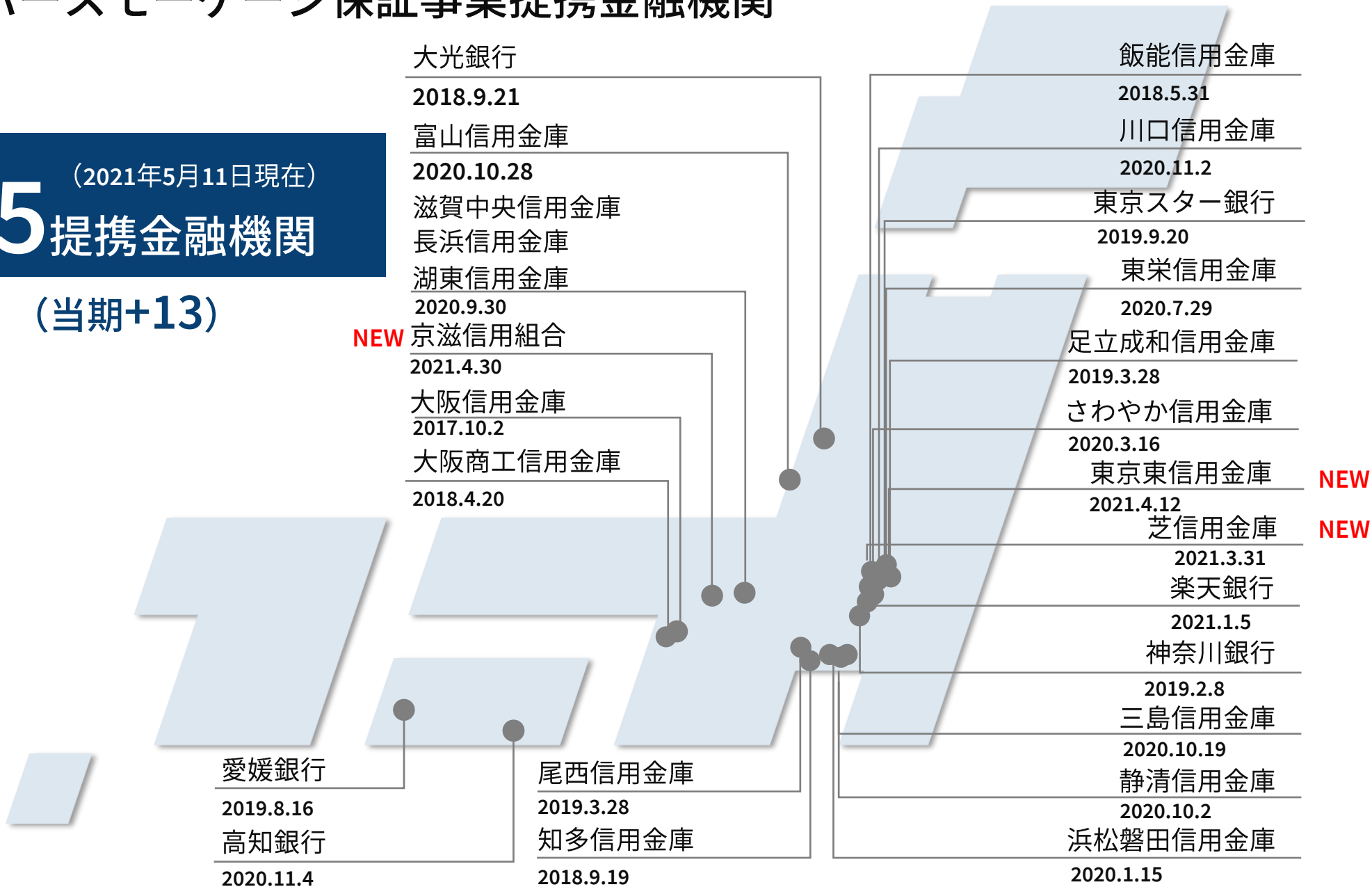
保証残高 45.0億円



リバースモーゲージ保証事業提携金融機関

(2021年5月11日現在)
25 提携金融機関

(当期+13)

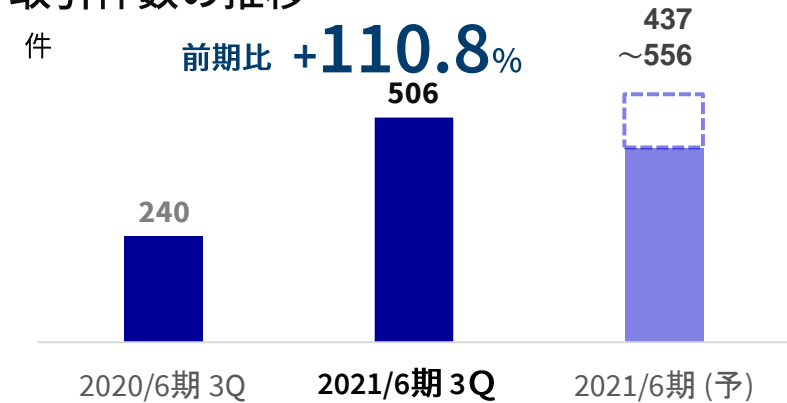


※日付はリリース日

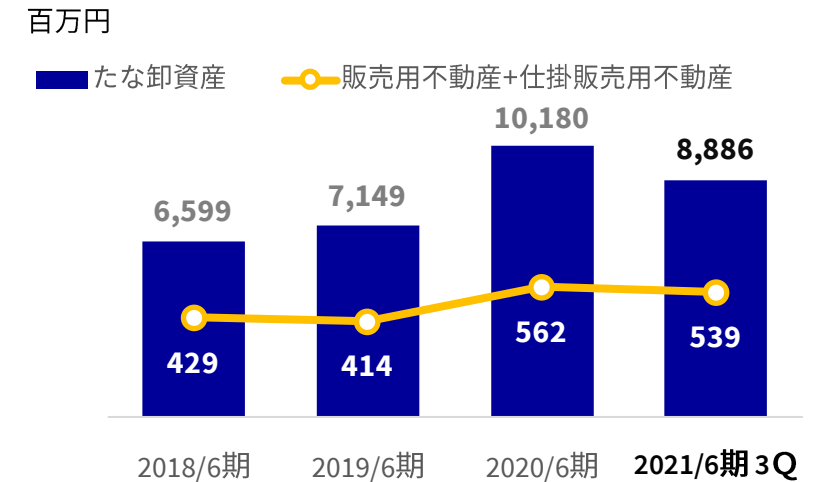
売上高・営業利益推移

	2020/6期 3Q	2021/6期 3Q	2021/6期 (予)	通期進捗率	
				(下限)	(上限)
売上高 (百万円)	5,103	10,295	6,938 ~9,134	148.4%	112.7%
営業利益 (百万円)	231	723	493 ~839	146.6%	86.1%
営業利益率 (%)	4.5%	7.0%	7.1% ~9.2%	—	—
取引件数	240	506	437 ~556	115.8%	91.0%

取引件数の推移



たな卸資産の推移

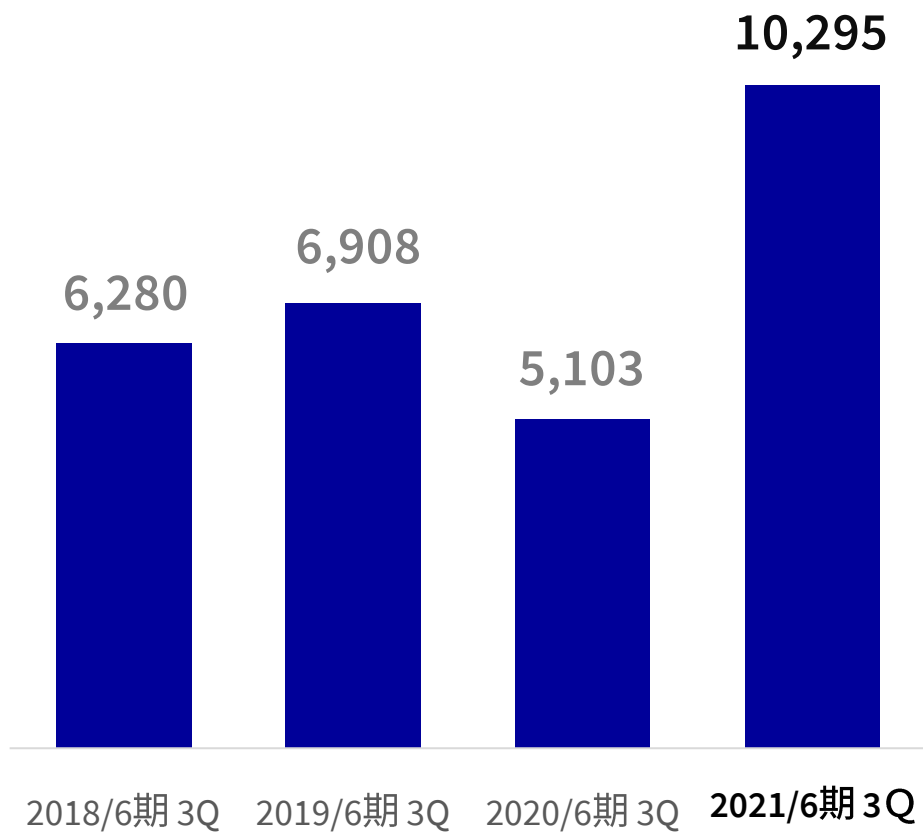


- 商品在庫の売却は引き続き順調に推移 売上高は通期計画上限値を超える
- 仲介事業との連携を一層強化し、仕入れ獲得に注力

売上高推移

百万円

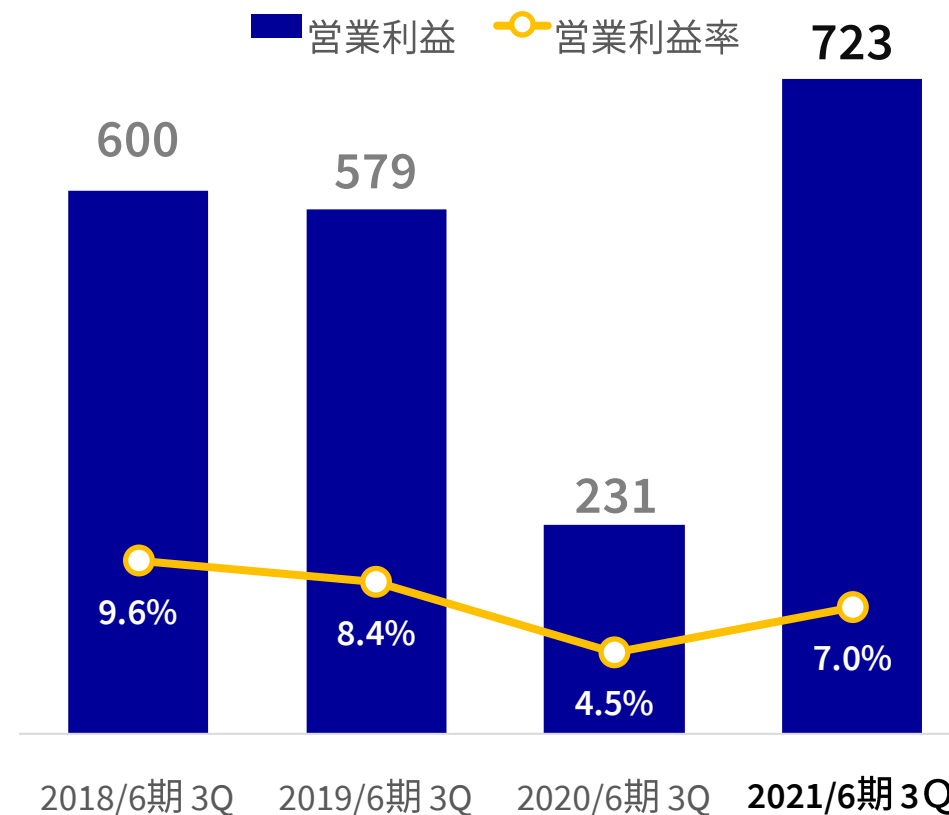
前期比 **+101.7%**



営業利益推移

百万円

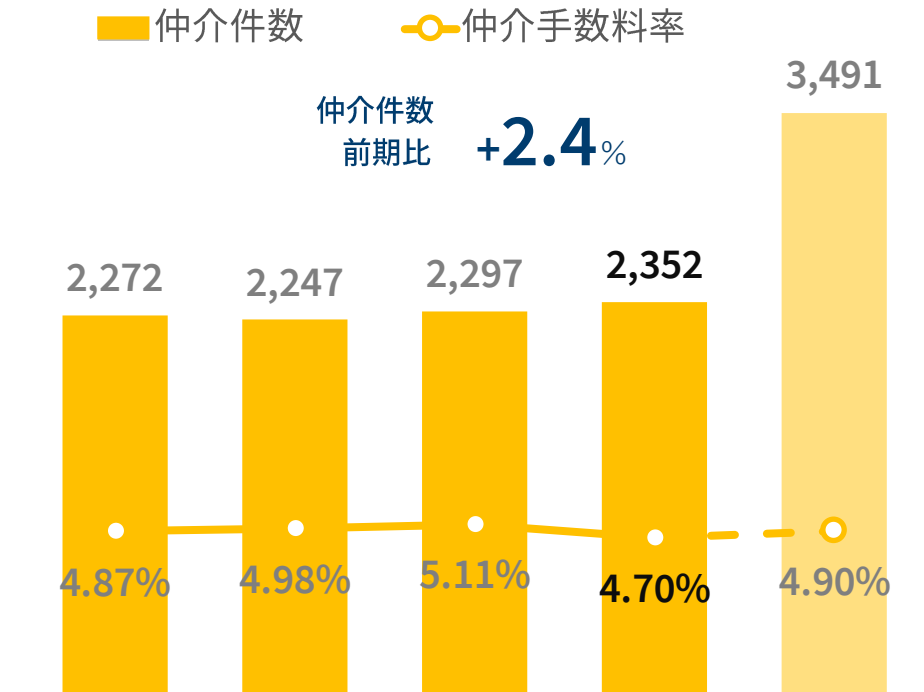
前期比 **+212.0%**



売上高・営業利益推移

	2020/6期 3Q	2021/6期 3Q	2021/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	1,649	1,704	2,403	70.9%
営業利益 (百万円)	389	411	580	70.9%
営業利益率 (%)	23.6%	24.1%	24.2%	—
仲介件数	2,297	2,352	3,491	67.4%
仲介手数料率	5.11%	4.70%	4.90%	—

仲介件数・手数料率の推移



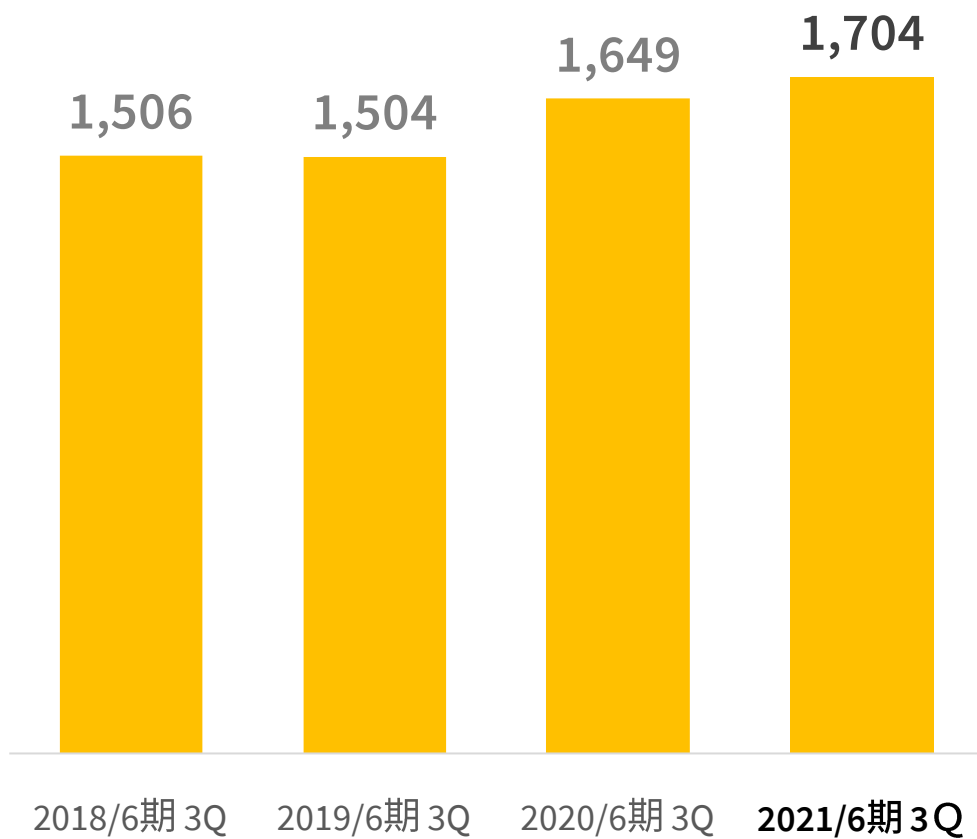
2018/6期 3Q 2019/6期 3Q 2020/6期 3Q **2021/6期 3Q** 2021/6期
 仲介手数料率の減少は、グループ高額案件販売時の
 手数料減額の影響→影響除外時4.88% (予)

- 仲介件数 前年同期比 +2.4% 実需の動きは堅調に推移する一方、供給（売物件）とのバランスに留意
- ワンストップサービスの窓口として、各事業とのグループシナジーを活かす

売上高推移

百万円

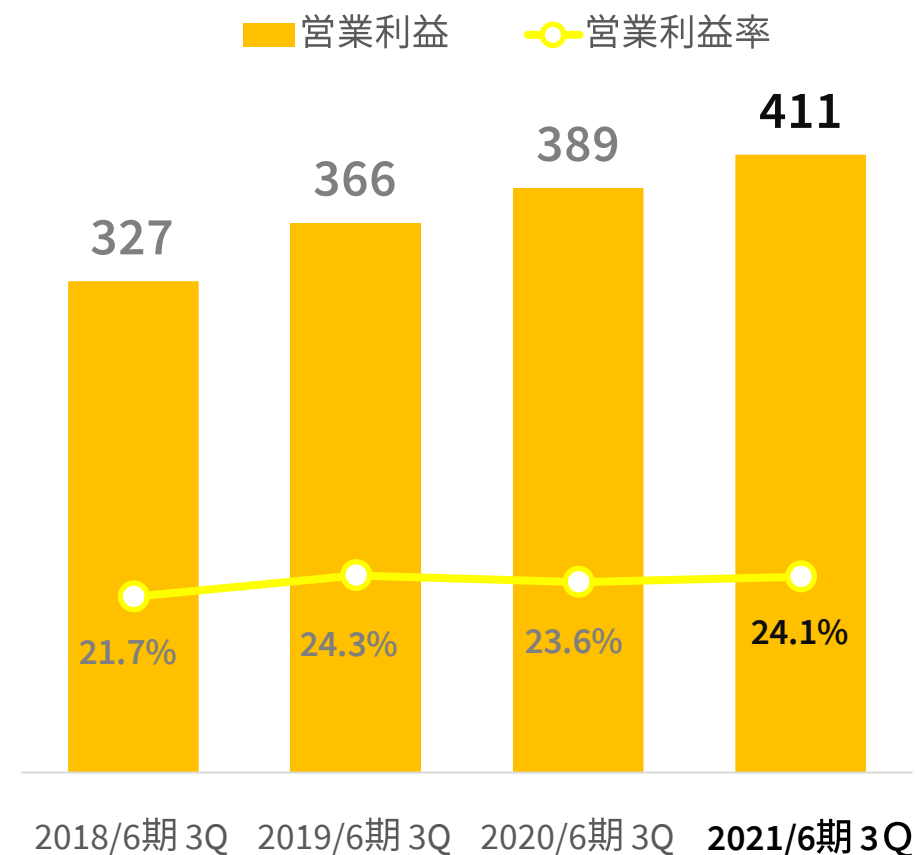
前期比 **+3.4%**



営業利益推移

百万円

前期比 **+5.7%**

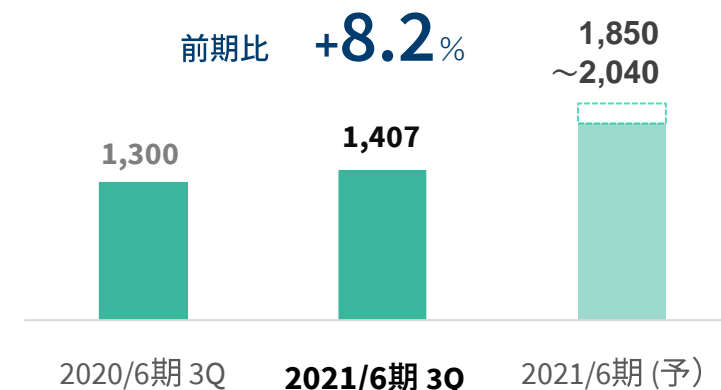


売上高・営業利益推移

	2020/6期 3Q	2021/6期 3Q	2021/6期 (予)	通期進捗率	
				(下限)	(上限)
売上高 (百万円)	2,037	1,979	2,743 ~3,023	72.2%	65.5%
営業利益 (百万円)	102	98	177 ~278	55.5%	35.4%
営業利益率 (%)	5.0%	5.0%	6.5% ~9.2%	—	—
リフォーム契約件数	1,300	1,407	1,850 ~2,040	76.1%	69.0%
リフォーム引渡件数	1,381	1,335	1,762 ~1,902	75.8%	70.2%

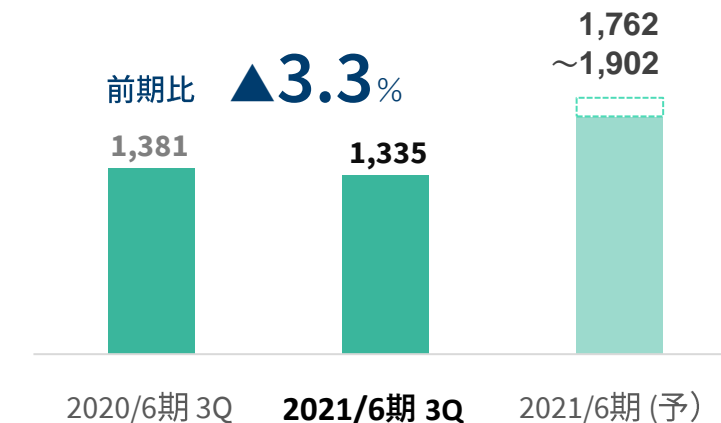
リフォーム契約件数の推移

件



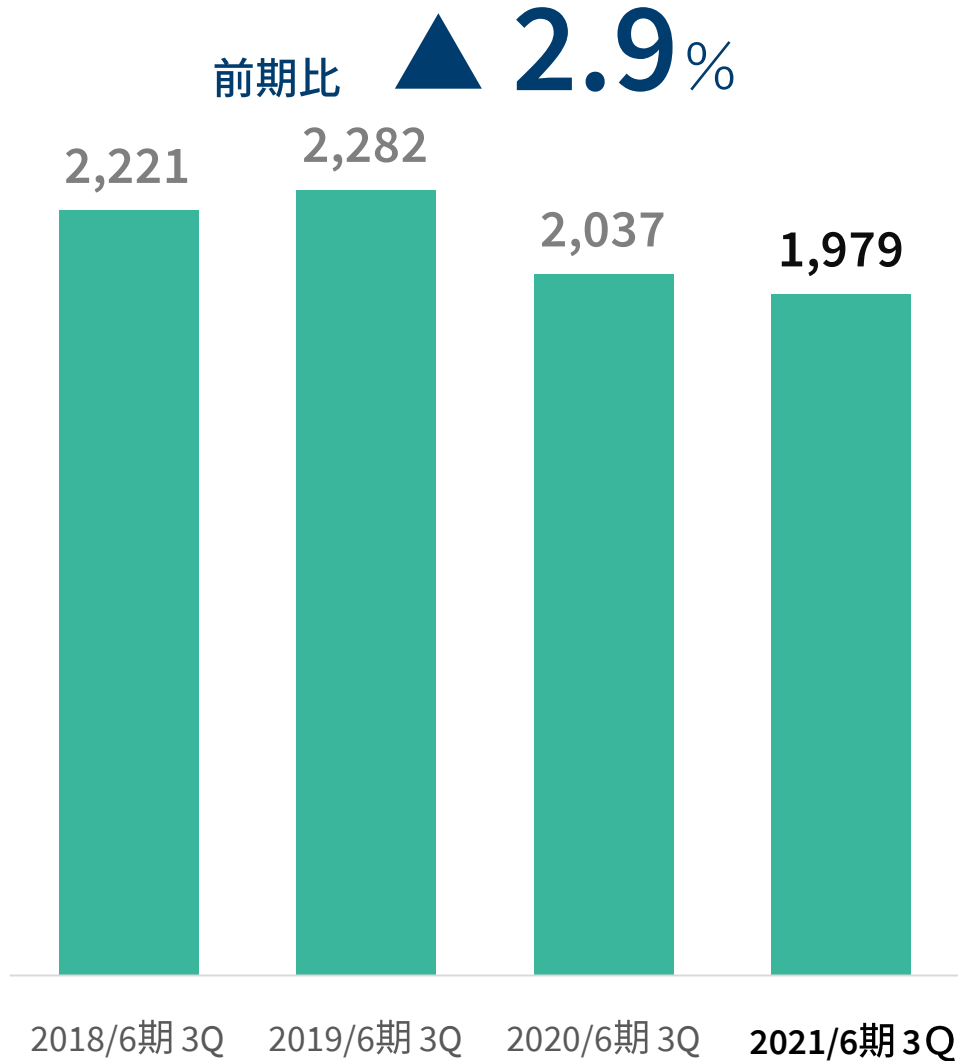
リフォーム引渡件数の推移

件

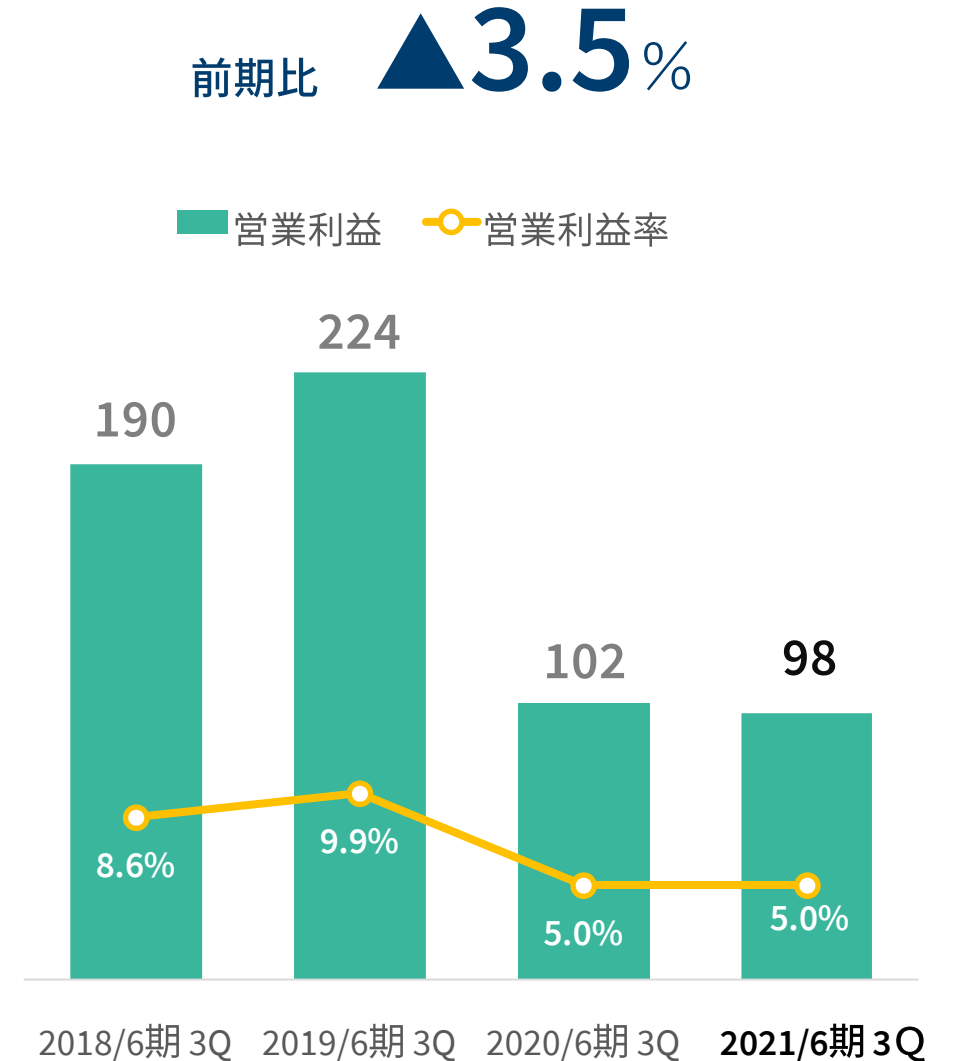


- 例年の季節性に加え、新型コロナウイルス感染症再拡大が工事進捗に若干影響し、3Q進捗は低調
- 受注は継続して前年同期を上回る 仲介事業との連携を強化し、中古住宅+リフォームによる受注に繋げる

売上高推移
百万円



営業利益推移
百万円

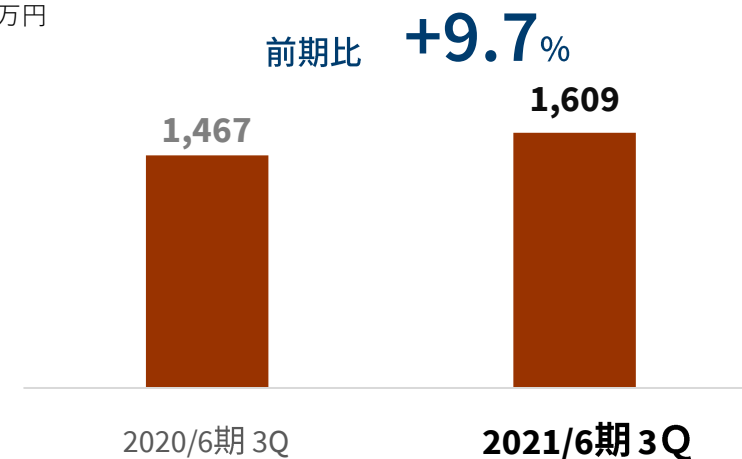


売上高・営業利益推移

	2020/6期 3Q	2021/6期 3Q	2021/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	1,467	1,609	3,254	49.5%
営業利益 (百万円)	114	95	253	37.6%
営業利益率 (%)	7.8%	5.9%	7.8%	—
管理戸数	5,861	5,883	5,887	—

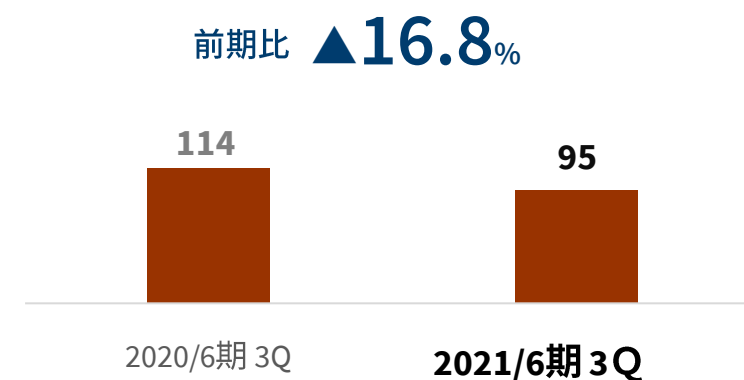
売上高推移

百万円



営業利益推移

百万円



■ 賃貸管理及び収益不動産の安定収益は確保

■ 売買事業による+αの収益を図るべく、地域密着の基盤とグループシナジーを活かし、仕入れ強化

販売費及び一般管理費の内訳

(百万円)

	2020/6期 3Q		2021/6期 3Q		対前年 増減率
	売上 対比	売上 対比	売上 対比	売上 対比	
販売費及び 一般管理費	7,235	31.5%	7,589	29.9%	+ 4.9%
人件費	3,279	14.3%	3,495	13.8%	+ 6.6%
広告宣伝費	1,148	5.0%	1,288	5.1%	+ 12.2%
事務所維持費	283	1.2%	302	1.2%	+ 6.6%
その他販売管理費	2,523	11.0%	2,503	9.9%	▲ 0.8%
(売上総利益)	8,377	36.5%	8,855	34.9%	

■売上高販管費率 前年同期 31.5% → 29.9%に低下

■成長強化事業を中心に広告宣伝及び人財投資を継続する一方、全体としては効率的にコントロール

連結貸借対照表

HOUSEDO

(百万円)

	2020/6期	2021/6期 3Q	増減
流動資産	41,505	35,334	▲ 6,170
現金及び預金	19,274	15,136	▲ 4,138
たな卸資産	10,685	9,474	▲ 1,210
その他	11,545	10,723	▲ 821
固定資産	12,737	19,395	+ 6,657
有形固定資産	9,184	15,439	+ 6,255
無形固定資産	897	982	+ 84
投資その他の資産	2,655	2,973	+ 317
資産合計	54,243	54,729	+ 486

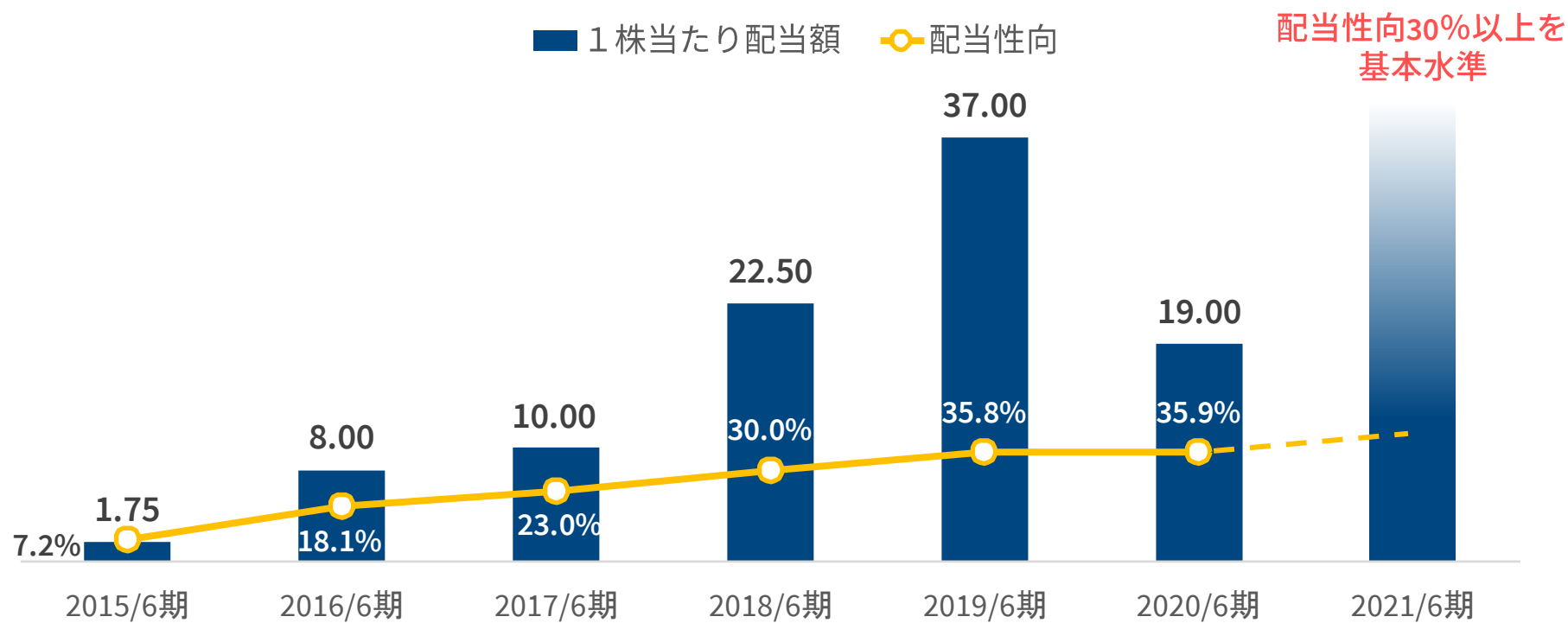
- たな卸資産の減少は、不動産売買事業における販売用不動産の売却が進んだこと等によるもの
- 流動資産その他の減少は、営業貸付金の減少等によるもの
- 有形固定資産の増加は、ハウス・リースバック事業の物件取得等によるもの

(百万円)

	2020/6期	2021/6期 3Q	増減
負債	42,664	42,723	+ 59
流動負債	21,432	18,077	▲ 3,354
固定負債	21,232	24,646	+ 3,414
純資産	11,578	12,005	+ 427
株主資本	11,600	12,017	+ 416
その他包括利益累計	▲ 56	▲ 52	+ 4
新株予約権	35	40	+ 5
負債純資産合計	54,243	54,729	+ 486

- 自己資本比率 21.3% **21.9%**
- 流動負債の減少は、短期借入金の減少等によるもの
- 固定負債の増加は、長期借入金の増加等によるもの
- 株主資本の増加は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加及び配当金支払いに伴う減少等によるもの

- 持続的な業容拡大と収益性向上により企業価値を向上
- 将来の成長投資と内部留保の充実及び株主への利益還元とのバランスを勘案し、配当性向30%以上を基本水準に
- 2022年6月期までは配当と株主優待による還元を実施



※2015年7月1日付で普通株式1株を5株に、2016年4月1日及び2018年7月1日付で普通株式1株を2株に分割しておりますので、当該株式分割の影響を加味し、遡及して修正した数値を記載しております。

日付	リリース内容
1/5	リバースモーゲージの保証事業で楽天銀行と提携
2/10	株主優待制度廃止に関するお知らせ
2/10	中期経営計画の修正に関するお知らせ
3/1	株式会社ジェイ・エス・ビーのサービス付き高齢者向け住宅入居希望者への不動産ソリューションサービス提供で提携
3/30	一橋大学大学院主催オンラインカンファレンス「DX時代のフィンテックと不動産テックの将来像」開催のお知らせ
3/31	リバースモーゲージの保証事業で芝信用金庫と提携

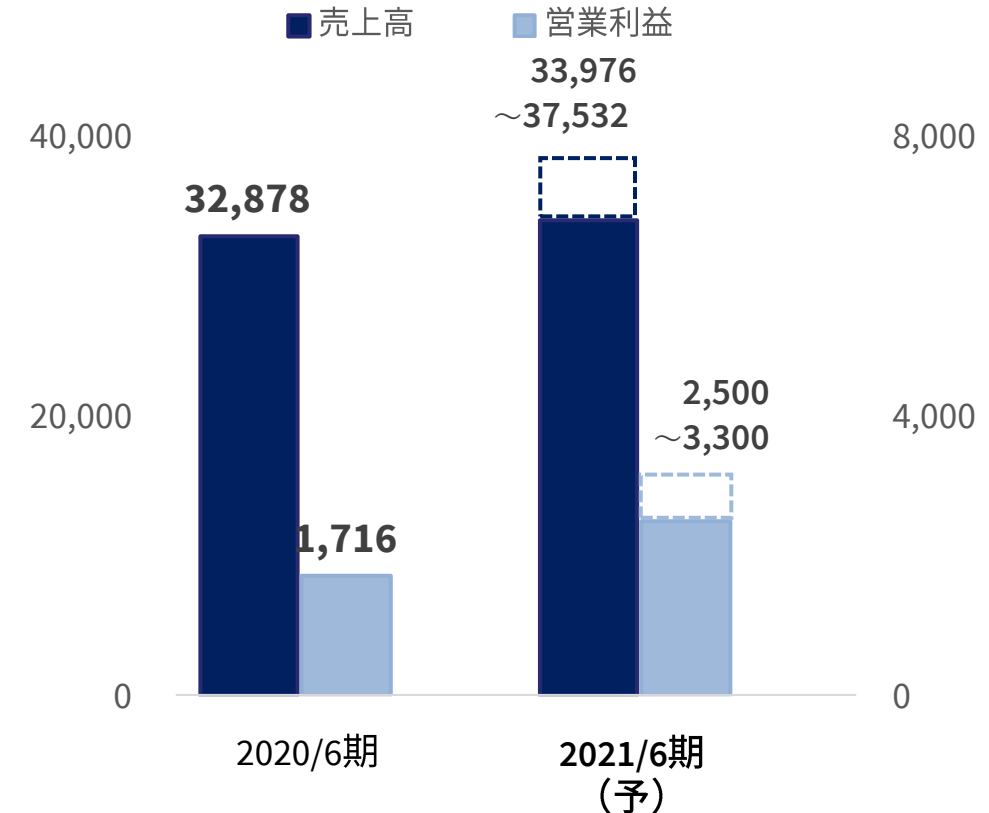
詳細は弊社コーポレートサイト (<https://www.housedo.co.jp/>) でご覧ください。

1. 会社概要
2. 2021年6月期 第3四半期連結決算概要
3. 2021年6月期 第3四半期セグメント別決算概要
4. 2021年6月期 **年度計画及び中期計画**

2021年6月期計画：連結業績予想

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響は徐々に回復を見込むが、先行きが不透明であることを踏まえ、レンジ形式による通期業績予想で開示
- コロナ禍の影響縮減及び各事業の巡航速度への早期回復、各種取り組みの効果を想定し、上限値を設定

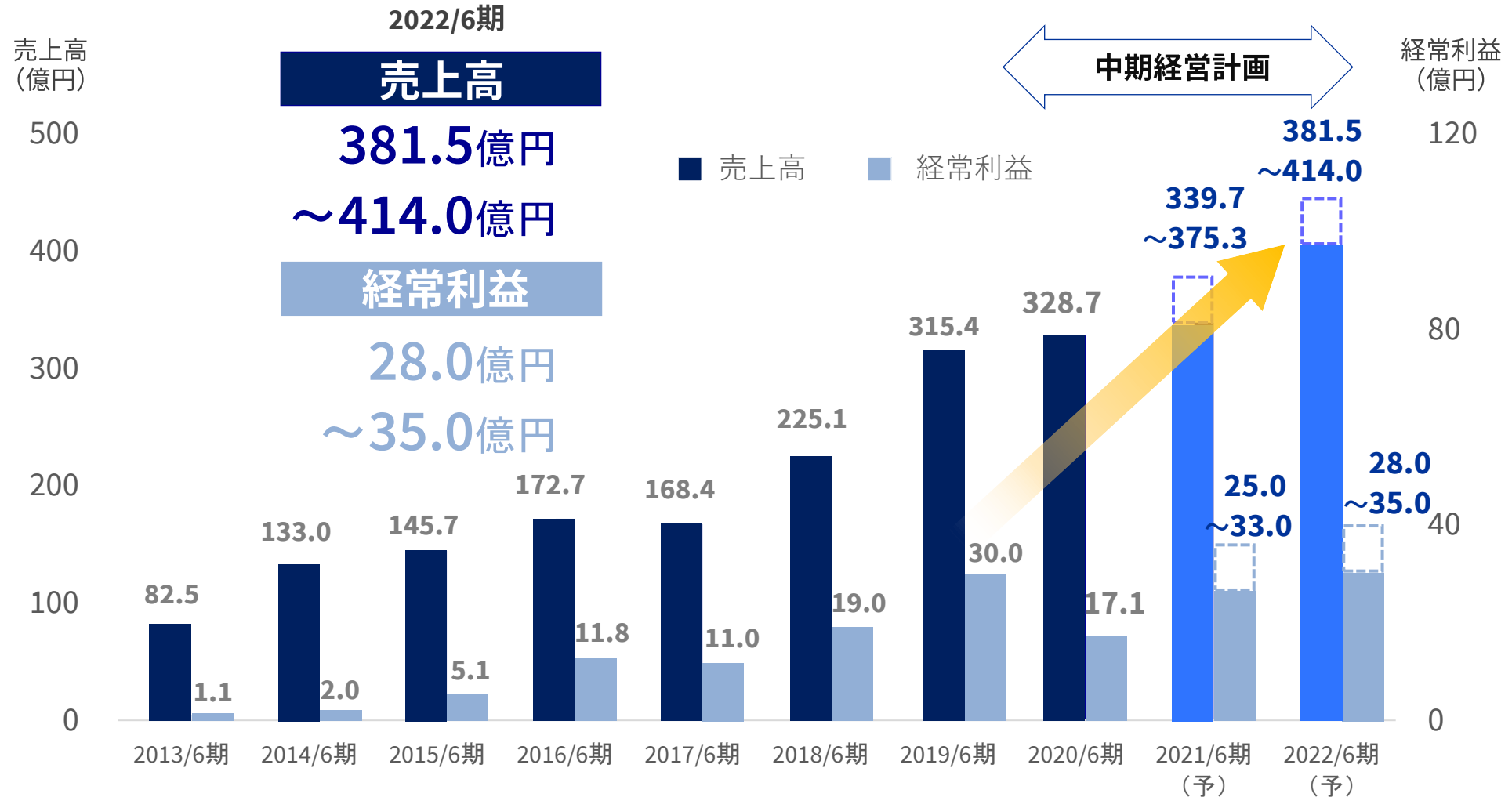
	単位（百万円）		
	2020/6期 実績	2021/6期 (予)	対前年 増減率
売上高	32,878	33,976 ~37,532	+3.3% ~+14.2%
営業利益	1,893	2,713 ~3,512	+43.3% ~+85.5%
経常利益	1,716	2,500 ~3,300	+45.7% ~+92.2%
純利益	1,030	1,650 ~2,178	+60.1% ~+111.3%



※業績の見通しは、発表日現在で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因により、実際の業績と異なる場合があります。

中期経営計画の修正（～2022年6月期）

- 基本方針（成長強化学業への積極投資継続による収益拡大）に変更は無し
- 住宅需要は堅調に推移、足元の事業進捗も堅調なもの、コロナ禍の各事業への影響の余波や外部環境の変化、強固な基盤を確立するための先行投資等を勘案し、最終年度の計画を修正

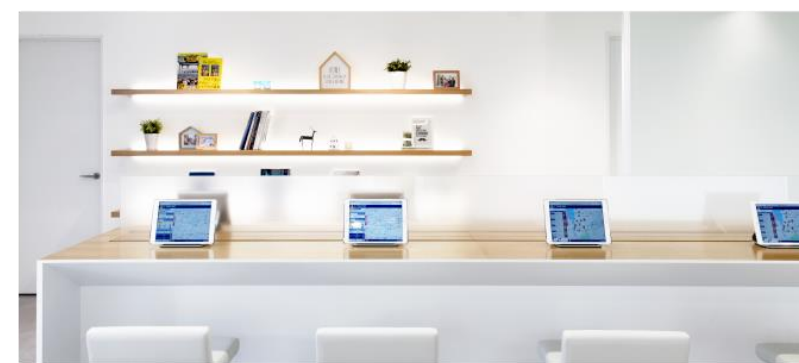


新たなブランディングでコンセプト/ロゴを一新

HOUSEDO

住まいに関するサービスをワンストップでスマートに提供

コンセプトを具体化した店舗へ順次リニューアル デジタルデバイスを活用し、新たなサービス創出を図る



「スマートDOホーム」販売開始

2021年4月19日
スマート家電・機器を標準装備したIoT住宅
「スマートDOホーム」販売開始

すべてが標準装備

スマート家電・機器を標準装備。
どこからでもスマートフォンで操作できます。



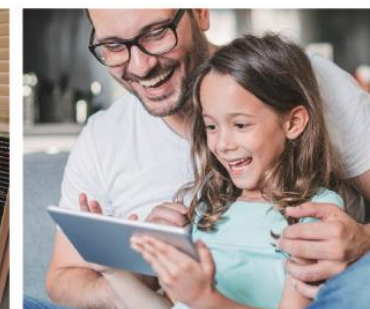
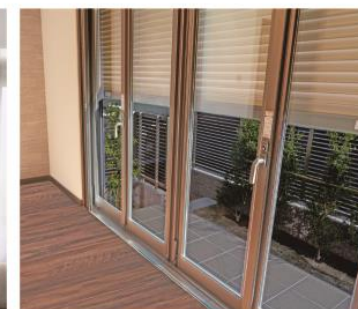
IoT 標準機能

照明 ON/OFF	侵入感知	監視カメラ
お湯はり	施錠・開錠 確認	見守りカメラ
テレビ ON/OFF ※	エアコン ON/OFF ※	宅配ボックス

ライフスタイルに合わせてカスタマイズ



カーテンやシャッターもアプリ・音声で開閉をコントロール



多彩なエンターテインメント



タッチディスプレイで
スマートホーム機器を集中管理

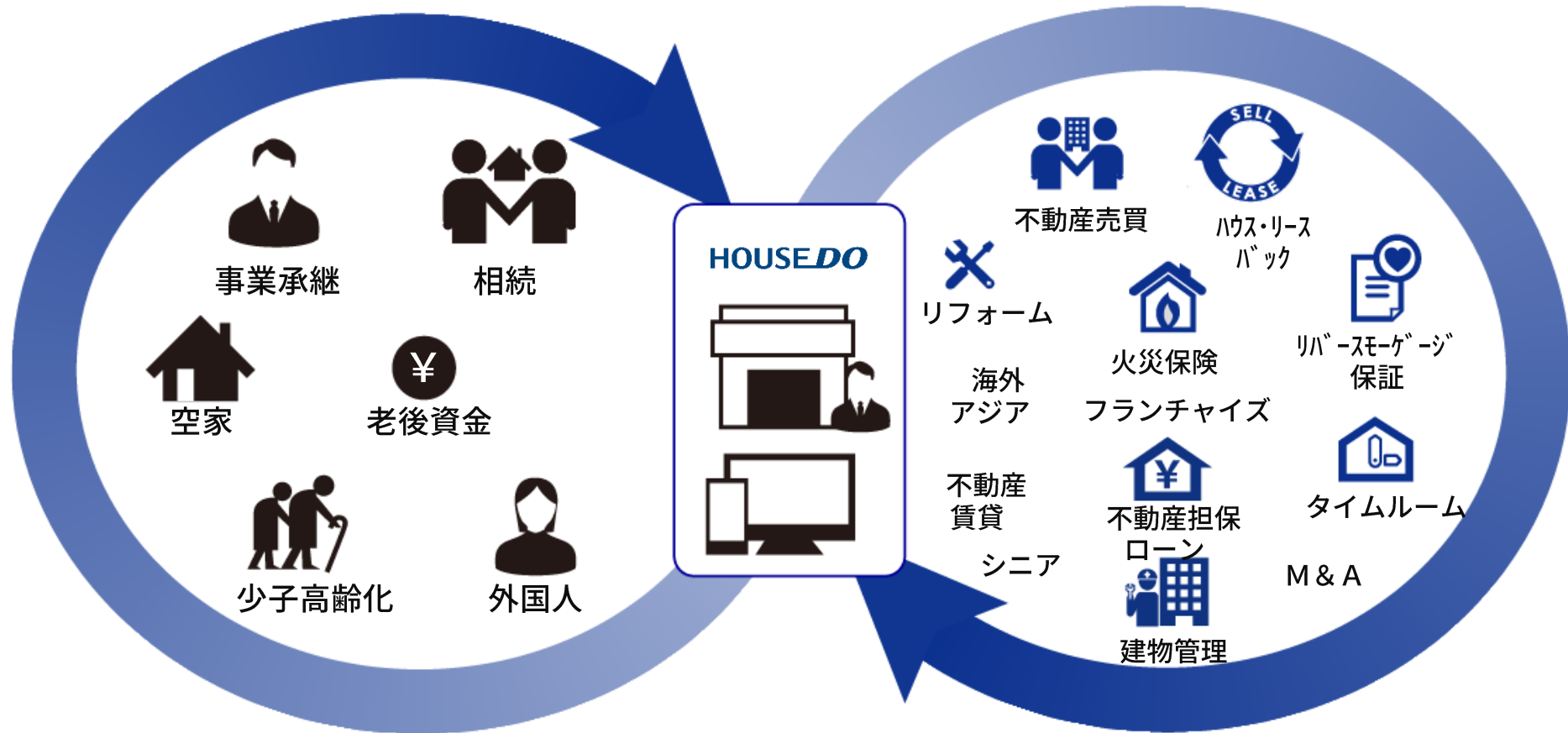


人感センサーでエアコンやテレビの
ON/OFFも可能



全方面にカメラ設置で
セキュリティ万全

さまざまな社会問題解決をサービス化



ビジネスチャンスに

ハウスの強みを最大限に活かし、業界改革

地域密着の



販売力



査定力



信用力



全国対応



賃貸ビジネス構想



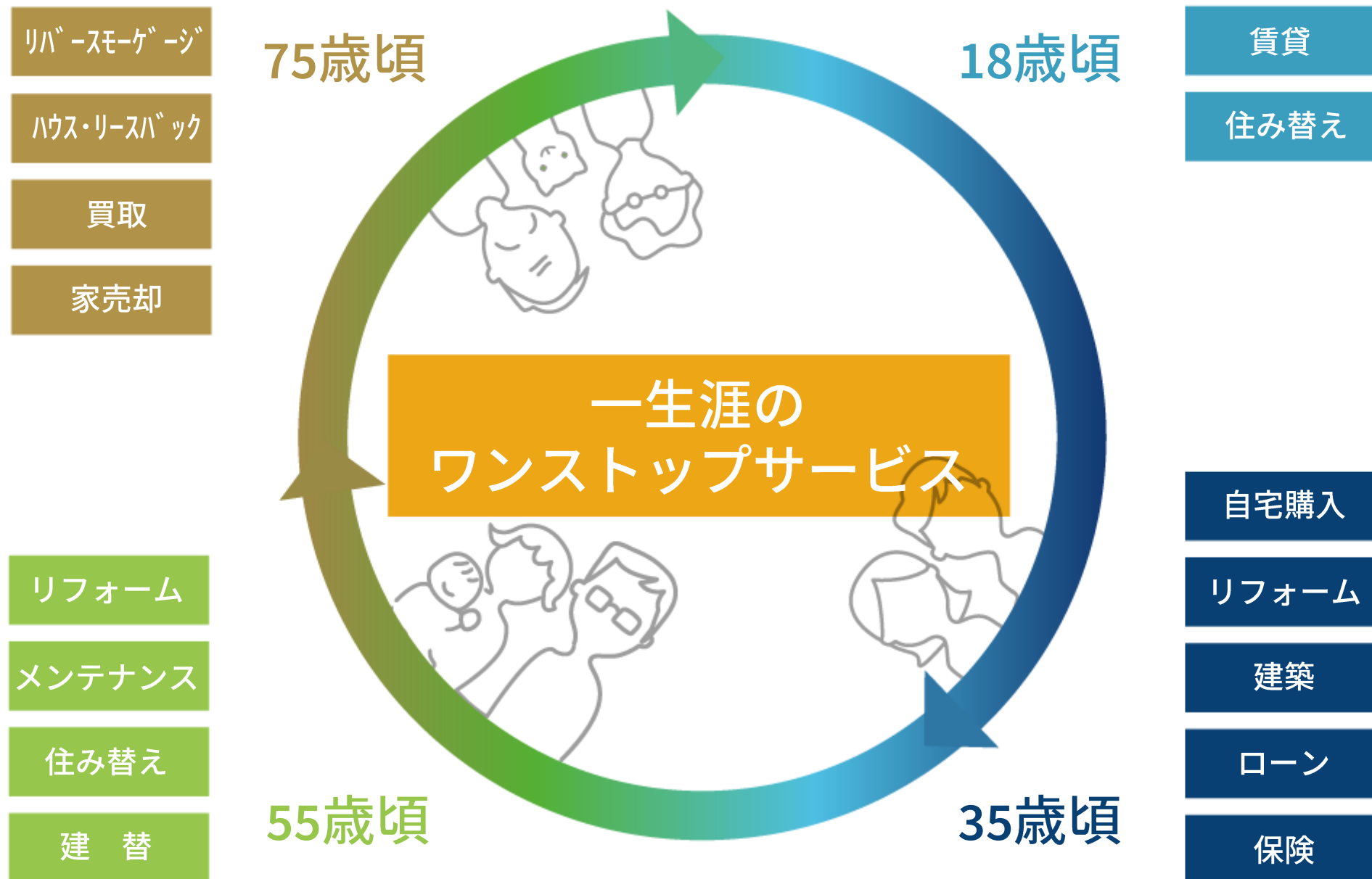
高齢者ビジネス構想



不動産信託構想

アジアの「不動産サービスメーカー」へ

ワンストップサービス=顧客生涯価値の最大化



不動産を所有しているお客様



不動産+金融 (ハウズドゥ+フィナンシャルドゥ)



不動産の活用 = 不動産の流動化

高齢化・貸金業者激減・資金供給不足

資産を活かし ⇒ 資金を供給

日本経済活性化

業界を変える！

— お客様のための業界へ —

国内**1,000**店 アジア**50,000**店へ！

住まいのすべてを、スマートに。

HOUSEDO

—将来見通しに関する注意事項—

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社グループは、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

※前々期以前のセグメント別データにつきましては、セグメント区分見直し前のデータが含まれております。ご注意ください。

■IR情報 <https://www.housedo.co.jp/ir/>

■IRに関するお問い合わせ Email：housedo-ir@housedo.co.jp TEL：03-5220-7230